

令和4年度

事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

社会福祉法人嘉麻社会福祉協議会

目 次

□法人経営部門

1. 総務係に関する事業報告	1
----------------------	---

□地域福祉・在宅福祉推進部門

2. 地域生活支援係に関する事業報告	8
--------------------------	---

3. 総合相談・地域づくり推進係

①かま生活支援・相談センター（コミュニティワークセンター）に関する事業報告	12
---	----

②かま権利擁護センターに関する事業報告	20
---------------------------	----

③かま自立相談支援センターに関する事業報告	23
-----------------------------	----

④かまひきこもり相談支援センターに関する事業報告	34
--------------------------------	----

⑤かまボランティア・市民活動センターに関する事業報告	36
----------------------------------	----

令和4年度 事業報告書

令和4年度における各事業・活動について、その実績を部門の係及びセンターごとに報告いたします。

法人経営部門【総務係】に関する事業報告

■法人経営事業

1. 会議

(1) 会長・副会長会議の開催

回	開催年月日	出席者数	内 容
95	令和4年5月16日(月)	3人	<p><協議内容></p> <p>①規程等の一部改正及び廃止について</p> <p>②令和3年度事業報告及び収支決算について</p> <p>③令和4年度第一次補正予算について</p> <p>④第6回定時評議員会の開催について</p> <p><報告内容></p> <p>①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について</p> <p><その他></p> <p>①地域福祉活動職員採用第一次試験の結果について</p> <p>②今後の法人運営に関する日程について</p>
96	令和4年12月5日(月)	3人	<p><協議内容></p> <p>①令和4年度第二次補正予算について</p> <p>②第50回臨時評議員会の開催について</p> <p><報告内容></p> <p>①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について ②高額寄付について</p> <p>③生活福祉資金特例貸付資金借受後の家計を含めた生活状況調査第一次報告について</p> <p><その他></p> <p>①借地の擁壁から伸びた樹木伐採に伴う隣地地主からの申出について</p>
97	令和5年2月16日(木)	3人	<p><協議内容></p> <p>①役員改選に伴う選出区分について</p> <p>②バス待合所の一部を行政に無償譲渡することについて</p> <p>③配食サービス事業者募集(令和6年度～令和8年度)への応募について</p> <p><報告内容></p> <p>①借地の擁壁等の整備について</p> <p>②アスベスト調査業務委託の見積もり比較について</p> <p>③令和5年度職員体制について</p>
98	令和5年3月2日(木)	3人	<p><協議内容></p> <p>①嘱託職員就業規則の制定について</p> <p>②規程等の一部改正及び廃止について</p> <p>③役員等賠償責任保険契約について</p> <p>④本会バス待合所の行政への一部無償譲渡について</p> <p>⑤令和4年度第三次補正予算について</p> <p>⑥令和5年度事業計画及び収支予算について</p> <p>⑦第52回臨時評議員会の開催について</p> <p><報告内容></p> <p>①令和5年度職員体制について</p>

(2) 理事会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
78	令和4年6月3日(金) 9時58分～11時06分	理事9人 監事2人	<p>議案第256号 規程等の一部改正及び廃止について</p> <p>議案第257号 令和3年度事業報告及び収支決算について 監査報告</p> <p>議案第258号 令和4年度第一次補正予算について</p> <p>議案第259号 第6回定時評議員会の開催について</p> <p>報告第83号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について</p>
79	令和4年12月13日(火) 10時00分～10時43分	理事10人 監事2人	<p>議案第260号 令和4年度第二次補正予算について</p> <p>議案第261号 第51回臨時評議員会の開催について</p> <p>報告第84号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について</p> <p>報告第85号 高額寄付について</p> <p>報告第86号 生活福祉資金特例貸付 資金借受後の家計を含めた生活状況調査第一次報告について</p>
80	令和5年3月15日(水) 9時57分～11時36分	理事10人 監事2人	<p>議案第262号 嘱託職員就業規則の制定について</p> <p>議案第263号 規程等の一部改正及び廃止について</p> <p>議案第264号 役員等賠償責任保険契約について</p> <p>議案第265号 本会バス待合所の行政への無償譲渡について</p> <p>議案第266号 令和4年度第三次補正予算について</p> <p>議案第267号 令和5年度事業計画及び収支予算について</p> <p>議案第268号 第52回臨時評議員会の開催について</p> <p>報告第87号 令和5年度職員体制について</p>

(3) 定時評議員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
6	令和4年6月24日(金) 10時00分～10時46分	評議員20人 正副会長3人 監事2人	<p>議案第111号 令和3年度事業報告及び収支決算について 監査報告</p> <p>議案第112号 令和4年度第一次補正予算について</p>

(4) 臨時評議員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
51	令和4年12月21日(水) 10時00分～10時46分	評議員17人 正副会長3人	議案第113号 令和4年度第二次補正予算について 報告第30号 生活福祉資金特例貸付 資金借受後の家計を含めた生活状況調査第一次報告について
52	令和5年3月24日(金) 10時00分～11時21分	評議員17人 正副会長3人	議案第114号 令和4年度第三次補正予算について 議案第115号 令和5年度事業計画及び収支予算について 報告第31号 令和5年度職員体制について

(5) 苦情解決第三者委員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
13	令和4年5月6日(金) 13時30分～14時05分	2人	①令和3年度の苦情受付報告について ②令和4年度の事業活動等について

2. 監 査

(1) 内部監査の実施

実施年月日・時間	監査実施者	内 容
令和4年5月26日(木) 10時00分～12時05分	深町俊一 中野勝己	令和3年度事業及び収支決算監査 ・社会福祉法人会計基準に基づく計算書類の様式等に関するチェック ・会計帳票等のチェック ・預貯金通帳、定期証書及び残高証明書・財産目録との照会

(2) 外部監査の実施

実施年月日	監査実施者	内 容
令和4年4月25日(月)	久保山税理士事務所	令和3年度2・3月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年5月17日(火)	久保山税理士事務所	令和3年度決算監査 ・計算書類の調査指導並びに計算書類外の事項の調査指導
令和4年6月3日(金)	久保山税理士事務所	令和4年度4月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年6月29日(水)	久保山税理士事務所	令和4年度5月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年7月29日(金)	久保山税理士事務所	令和4年度6月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年9月8日(木)	久保山税理士事務所	令和4年度7月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年9月29日(木)	久保山税理士事務所	令和4年度8月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年10月28日(金)	久保山税理士事務所	令和4年度9月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年11月29日(火)	久保山税理士事務所	令和4年度10月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年12月27日(火)	久保山税理士事務所	令和4年度11月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和5年1月30日(月)	久保山税理士事務所	令和4年度12月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合
令和5年2月28日(火)	久保山税理士事務所	令和4年度1月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合

※令和5年3月の令和5年2月次監査は、令和5年3月28日に行う予定であったが、税理士事務所からの日程変更の申し出により中止となった。

3. 規程等の改正

(1) 規程の制定

規程名	制定年月日	施行年月日
嘱託職員就業規則	令和5年3月15日	令和5年4月1日

(2) 規程の一部改正

規程名	改正年月日	施行及び適用年月日
規程管理規程	令和4年6月3日 令和5年3月15日	令和3年4月1日に遡って 令和5年4月1日
慶弔規程	令和4年6月3日	令和4年4月1日に遡って
臨時的任用職員就業規則	令和4年6月3日 令和5年3月15日	令和4年4月1日に遡って 令和5年4月1日
契約事務取扱要領	令和4年6月3日	平成29年4月1日に遡って
葬祭場指定に関する規程	令和4年6月3日	令和2年4月1日に遡って
葬祭場の利用に関する規程	令和4年6月3日	令和2年4月1日に遡って
再雇用職員就業規則	令和5年3月15日	令和4年4月1日に遡って
臨時的任用職員賃金規程	令和5年3月15日	令和5年4月1日
退職手当金規程	令和5年3月15日	令和5年4月1日
職員給与規程	令和5年3月15日	令和4年4月1日に遡って

(3) 規程の廃止

規程名	決議年月日	廃止年月日
固定資産管理規程	令和4年6月3日	令和4年6月3日
退職手当金運用規程	令和4年6月3日	令和4年6月3日
葬祭場指定に関する規程	令和5年3月15日	令和5年4月1日
葬祭場の利用に関する規程	令和5年3月15日	令和5年4月1日

(4) 実施要綱の一部改正

実施要綱名	改正年月日	施行年月日
市民支援員設置要綱	令和5年3月29日	令和5年4月1日

4. その他の事業

(1) 損害賠償責任保険への加入

本会役員等が損害賠償請求の当事者となるリスクに備えて、社協の保険の損害賠償責任保険に加入した。保険適用期間：令和5年4月1日16時まで

(2) 健康診断の実施

令和4年9月～11月 職員に健康診断を受けてもらった。(受診職員19名)

(3) インフルエンザ予防接種の助成の実施

令和4年10月～令和4年12月 個人で予防接種を受けた職員に接種代金の助成を行った。(接種職員2名)

(4) 働き方改革に関する取り組み

働き方改革関連法が平成31年4月より主要部分が施行されたことにより、本会においても年10日以上の有給休暇付与者に時期を指定して年5日以上の有給休暇を与えた。取得率については、前年度の15.01%より7.42%増えて22.43%となった。

雇用形態	付与日数	取得日数	取得率
正規職員(6名)	167日	37日	22.15%
再雇用職員(1名)	40日	5日	12.50%
嘱託職員(3名)	88日	24日	27.27%
臨時職員(1名)	26日	6日	23.07%
合計	321日	72日	22.43%

(5) 職員研修の実施

実施年月日・時間	内容	参加者	会場
令和4年7月13(水) 17時30分～19時00分	テーマ「アイヌの問題から差別や偏見について考える」 講師 嘉麻市嘉穂隣保館 館長 橋垣 秀則 氏	19人	山田ふれあいハウス会議室

(6) 職員募集及び採用試験の実施

本会の正規職員(事務局長候補・地域福祉活動)及び嘱託職員を採用するため、年間を通して職員募集を継続し、随時採用試験を行った。

試験区分	募集方法	応募者数	第一次試験 (一般教養・小論文)	第二次試験 (面接)	結果
事務局長候補職員	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年10月4日(火)	令和4年10月25日(水)	令和5年4月1日付で採用した。
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年10月23日(土)	-	第一次試験後に辞退の申し出があった。
地域福祉活動職員	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年5月2日(月)	-	合格基準に届かず一次試験で不合格とした。
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年11月9日(水)	令和4年11月18日(金)	令和5年4月1日付で採用した。

試験区分	募集方法	応募者数	面接試験	結果
嘱託職員	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年8月12日(金)	福祉業界での経験がないため不合格とした。 令和5年4月1日付で採用した。
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和4年12月28日(水)	

(7) 各種団体への助成

助成団体	助成額
嘉麻市行政区長連合会	100,000円
嘉麻市民生委員児童委員協議会	80,000円

(8) ポストカードの販売

取扱い先	販売枚数
山田	1
カッホー馬古屏	10
合計	11

(9) 飲料水自動販売機の設置 (令和4年4月～令和5年3月)

設置場所	販売本数	収入額
山田ふれあいハウス	1,727本	29,777円
合計	1,727本	29,777円

(10) 苦情の申し出 苦情申出件数 1件

□苦情の内容

区分	件数
事業(サービス)の内容	0
ケアの内容	0
個人の嗜好・選択	0
財産管理・遺産・遺言等	0
制度、法律、施策	0
その他	1
合計	1

□苦情の事業分類

地域福祉事業(件)	介護保険事業(件)	計画相談支援事業(件)	受託事業(件)
0	0	0	1

□結果

第三者委員へ申し立て	話し合いへの第三者委員の助言・立会い希望	福岡県苦情解決運営適正化委員会へ申し立て	継続中	解決済み
0	0	0	0	1

(11) 寄附

地区名		香典返し	初盆返し	一般寄附	物品寄附	合計
稲築地区	件	11	0	2	0	13
	額	170,000	0	5,000	-	175,000
碓井地区	件	6	0	0	0	6
	額	70,000	0	0	-	70,000
山田地区	件	7	0	0	0	7
	額	110,000	0	0	-	110,000
嘉穂地区	件	26	0	3	0	29
	額	440,000	0	10,700	-	450,700
市外	件	8	0	8	0	16
	額	220,000	0	152,000	-	372,000
合計	件	58	0	13	0	71
	額	1,010,000	0	167,700	-	1,177,700

(12) 山田ふれあいハウスの維持・管理

内 容	施工業者及び施行日	
浄化槽保守点検	(有)田中サニタリー工業	令和4年4月25日(月) 令和4年5月25日(火)
		令和4年6月27日(月) 令和4年7月29日(金)
		令和4年8月30日(火) 令和4年9月30日(金)
		令和4年10月28日(金) 令和4年11月29日(火)
		令和4年12月29日(木) 令和5年1月31日(火)
		令和5年2月28日(火) 令和5年3月15日(水)
電気設備点検	松本電気管理事務所	令和4年5月2日(月) 令和4年7月1日(金)
		令和4年9月2日(金) 令和4年9月21日(水)
		令和4年11月1日(火) 令和5年1月6日(金)
		令和5年3月1日(水)
消防用設備等点検	(有)筑邦トーハツ商会	令和4年6月2日(木) 令和4年11月9日(水)
かま自立相談支援センターLED照明設置	大栄電通(株)	令和4年8月6日(土)
事務所ホワイトボード取付	(株)西田建設	令和4年12月21日(水)
女子トイレ詰まり修繕	(有)大塚給水工業	令和5年1月27日(金)
敷地内の樹木選定	井手グリーンサービス	令和5年3月10日(金)～11日(土)

(13) 防火訓練の実施

令和5年2月17日(金) 15時00分～16時00分 参加者数5人

内容 ①火災発生・避難訓練・通報訓練

②避難後の点呼

③訓練終了後、水消火器を使用し、使い方を再確認した

(14) 借地(行政から)の擁壁等の樹木伐採

令和5年2月20日(月)～令和5年2月22日(水)

業務名 借地の擁壁樹木伐採及び隣地竹林粉砕並びに樹木伐採

施工業者 一般社団法人 嘉麻市観光まちづくり協会

(15) 研修・連絡会・会議等への参加

参加年月日	内 容	会 場	出席者
令和4年4月7日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年4月14日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年4月14日(木)	ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研修	福岡県中小企業振興センター	角 ちひろ
令和4年4月21日(木)	ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研修	福岡県中小企業振興センター	角 ちひろ
令和4年4月26日(火)	令和4年度筑豊ブロック市町村社協連絡協議会総会	行橋市総合福祉センター	坂田 勲 渡辺 進 小川 史佳
令和4年5月12日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年5月19日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年5月26日(木)	令和4年度生活福祉資金事務説明会	クローバープラザ	小川 史佳
令和4年6月2日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年6月3日(金)	嘉麻市防災会議	嘉麻市稲築地区公民館	小川 史佳
令和4年6月9日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年6月13日(月)	嘉麻市地域包括支援センター運営協議会	嘉麻市役所 本庁舎	小川 史佳
令和4年6月16日(木)	令和4年度災害ボランティアセンター設置運営訓練 全体研修	クローバープラザ	吉田 文平
令和4年7月7日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年7月22日(金)	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修	オンライン	坂本 真一 吉田 文平
令和4年7月25日(月)	成年後見制度利用促進研修会「最後まで自分らしく」を支えていくために～福祉関係者のための任意後見の基礎知識～	オンライン	小川 史佳
令和4年7月26日(火)	令和4年度ひきこもり支援者研修会	オンライン	角 ちひろ
令和4年8月2日(火)	令和4年度厚生労働省委託事業生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業説明会	オンライン	大里 真弓
令和4年8月3日(水)	福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会	オンライン	坂本 真一 吉田 文平
令和4年8月4日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年8月18日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年8月23日(木)	令和4年度第1回嘉麻市空家等対策協議会	嘉麻市役所 本庁舎	坂本 真一
令和4年9月1日(木)	令和4年度第1回嘉麻市自殺対策連携協議会	嘉麻市役所 本庁舎	山下 あゆみ
令和4年9月3日(土)	令和4年度災害ボランティアセンター設置運営訓練	桂川町住民センター	渡辺 進 小川 史佳 伊藤 美穂 山下 あゆみ 角 ちひろ 坂本 真一 吉田 文平 土屋 亜樹 野見山 未佳
令和4年9月8日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年9月15日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年10月6日(木)	嘉麻市配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会	嘉麻市役所 本庁舎	渡辺 進
令和4年10月21日(金)	嘉麻市地域密着型サービス運営委員会	嘉麻市役所 本庁舎	小川 史佳
令和4年10月26日(水)	令和4年度福岡県社会福祉大会	クローバープラザ	野見山 利三 村上 曙生 末吉 進一 渡辺 進 小川 史佳 坂本 真一
令和4年11月8日(火)	ふくおかライフレスキュー事業第8回サポーター養成研修	クローバープラザ	小川 史佳 坂本 真一 吉田 文平
令和4年11月10日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年11月12日(土)	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	オンライン	小川 史佳 角 ちひろ 吉田 文平 土屋 亜樹 大里 真弓

令和4年11月15日(火)	A型事業所における就労支援の取り組みについて	オンライン	大里 真弓
令和4年11月16日(水)	ふくおかライフレスキュー事業第8回サポーター養成研修	グローブプラザ	坂本 真一 吉田 文平
令和4年11月16日(水)	ひきこもりUXゼミナール	アクロス福岡	角 ちひろ
令和4年11月17日(木)	ひきこもりUXゼミナール	アクロス福岡	角 ちひろ
令和4年11月17日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和4年11月19日(土)	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	オンライン	角 ちひろ 坂本 真一 吉田 文平 土屋 亜樹
令和4年11月20日(日)	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	オンライン	小川 史佳 大里 真弓
令和4年11月23日(水)	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	オンライン	小川 史佳 角 ちひろ 土屋 亜樹
令和4年11月25日(金)	令和4年度第1回差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	嘉麻市役所 本庁舎	小川 史佳
令和4年11月27日(日)	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	オンライン	小川 史佳 角 ちひろ
令和4年11月29日(火)	生活福祉資金特例貸付事務説明会	オンライン	小川 史佳
令和4年12月2日(金)	令和4年度嘉飯桂地区社会福祉協議会職員連絡会新人研修	いきいきセンター桂寿園	小川 史佳 角 ちひろ 坂本 真一 吉田 文平 土屋 亜樹
令和4年12月8日(木)	福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(実践者編)	オンライン	角 ちひろ
令和4年12月9日(金)	福岡地域生活定着支援協議会 筑紫・筑後ブロック会	オンライン	角 ちひろ
令和4年12月9日(金)	令和4年度成年後見制度利用促進実践研修会	グローブプラザ	小川 史佳 野見山 未佳
令和4年12月19日(月)	令和4年度嘉飯桂地区社会福祉協議会職員連絡会総務班研修会	いきいきセンター桂寿園	渡辺 進 伊藤 美穂 山下 あゆみ
令和5年1月12日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和5年1月26日(木)	地域ケア会議助言者連携会議	オンライン	小川 史佳 吉田 文平
令和5年2月9日(木)	令和4年度市町村社会福祉協議会事務局長会議	グローブプラザ	渡辺 進
令和5年2月9日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和5年2月10日(金)	社会福祉法人役職員研修会	ユメニティのおがた	渡辺 進 土屋 亜樹
令和5年2月13日(月)	地域包括ケアシステム推進会議	オンライン	小川 史佳 角 ちひろ 坂本 真一 吉田 文平 野見山 未佳 大里 真弓
令和5年2月15日(水)	令和4年度第2回嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	嘉麻市役所 本庁舎	小川 史佳
令和5年2月20日(月)	令和4年度「嘉麻市地域福祉計画」策定委員会	嘉麻市役所 本庁舎	小川 史佳
令和5年2月20日(月)	嘉麻市デジタル推進協議会	嘉麻市役所 本庁舎	角 ちひろ
令和5年3月1日(水)	令和4年度第1回嘉麻市障がい者施策推進協議会	嘉麻市役所 本庁舎	吉田 文平
令和5年3月2日(木)	K-ねっと全国セミナー	オンライン	渡辺 進 小川 史佳
令和5年3月2日(木)	地域ケア会議	オンライン	小川 史佳
令和5年3月11日(土)	第19回日本社会福祉学会フォーラム	オンライン	小川 史佳 角 ちひろ
令和5年3月13日(月)	令和4年度不登校・ひきこもり支援フォーラム	オンライン	角 ちひろ
令和5年3月20日(月)	嘉麻市デジタル推進協議会	嘉麻市役所 本庁舎	角 ちひろ
令和5年3月23日(木)	オンライン・シンポジウム 仕事・就労支援を切り口にした地域づくり	オンライン	大里 真弓

(16) 役職員の行政等委員会委員の就任状況

区分	委員会名	現委員名	任 期	備考
嘉麻市	嘉麻市人権啓発センター運営審議会	野見山 利三	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
	嘉麻市嘉隣保館運営審議会	大里 厚子	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
	嘉麻市民生委員児童委員推薦委員会	野見山 利三 野見山 桂子	令和3年6月30日～令和6年6月29日	
	嘉麻市生活安全推進協議会	坂田 勲	任期設定なし	
	嘉麻市配偶者等からの暴力の防止対策連絡協議会	渡辺 進	令和3年10月21日～令和5年10月20日	
	嘉麻市地域包括支援センター運営協議会	小川 史佳	令和4年11月1日～令和6年10月31日	
	嘉麻市地域密着型サービス運営委員会	小川 史佳	令和4年11月1日～令和6年10月31日	
	嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	小川 史佳	令和4年10月12日～令和6年10月11日	
	嘉麻市防災会議	小川 史佳	令和4年5月11日～令和6年5月10日	
	嘉麻市自殺対策連携協議会	山下 あゆみ	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
	嘉麻市空き家等対策協議会	坂本 真一	令和4年4月7日～令和6年2月2日	
	嘉麻市地域福祉計画策定委員会	小川 史佳	令和4年4月1日～令和6年5月18日	
	嘉麻市障がい者施策推進協議会	吉田 文平	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
	嘉麻市デジタル推進協議会	角 ちひろ	令和5年2月20日～設置目的が達成されるまで	
飯塚・嘉麻・桂川障がい者基幹相談支援センター	飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク委員会	渡辺 進	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
福岡嘉穂農業協同組合	支所運営委員会	渡辺 進	令和3年11月1日～令和5年10月31日	

(17) 車両の管理

区分	車両名	車種	車両No.	運行回数 (回)	走行距離 (km)	給油量 (ℓ)	整備・点検等				備考
							車検	タイヤ	オイル	修理等	
法人 (4 台)	トヨタハイエース	普通	筑豊 300 と 44-63	4	152	30.00	●		●		
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 そ 12-62	254	4,498	237.47	●		●		
	ダイハツハイゼット 4WD	軽	筑豊 480 き 67-34	148	2,559	193.38	●		●		
	スズキスペーシア	軽	筑豊 580 ひ 71-31	107	1,909	101.95					12月リース契約
小計				513	9,118	562.80	3		3		
地域活動 (2 台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 480 い 93-96	332	5,655	388.31			●		12月廃車
	ダイハツハイゼット	軽	筑豊 480 う 90-58	242	4,911	347.55			●		
小計				574	10,566	735.86			2		
日常生活 (2 台)	トヨタピクシスバン	軽	筑豊 480 き 96-85	504	9,111	626.84					
	スズキスペーシア	軽	筑豊 580 て 71-98	425	8,301	418.18			●	●	
小計				929	17,412	1,045.02			1	1	
生活困窮 (2 台)	スズキアルト	軽	筑豊 580 つ 645	443	7,979	339.08				●	
	ニッサンパネット	普通	筑豊 400 す 520	629	3,251	417.81	●		●	●	
小計				1,072	11,230	756.89	1		1	2	
山田配食 (2 台)	スズキワゴンR	軽	筑豊 580 は 46-09	368	5,783	446.79				●	
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-45	414	6,620	525.75	●			●	
小計				782	12,403	972.54	1				2
稲築配食 (3 台)	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 と 70-12	353	9,305	626.49				●	
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 と 70-13	379	10,467	608.21				●	
	ダイハツハイゼット 4WD	軽	筑豊 480 き 57-16	369	11,620	1,121.73					
小計				1,101	31,392	2,356.43					2
嘉穂配食 (1 台)	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-47	354	14,763	831.00	●		●	●	
小計				354	14,763	831.00	1		1	1	
碓井配食 (1 台)	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-44	346	8,918	540.00	●		●	●	
小計				346	8,918	540.00	1		1	1	
合計				5,671	115,802	7,800.54	7		9	9	

地域福祉推進部門【地域生活支援係】 事業報告

■具体的事業活動

1. 市受託事業

(1) 配食サービス事業

① 稲築、山田、碓井、嘉穂地区における配食サービスの実施

・実施日 365 日

・延べ利用者数 2,814 人（普通食 1,824 人 特別食 990 人）

内訳 稲築地区 1,601 人（男性 343 人 女性 1,258 人）（普通食 964 人 特別食 637 人）

山田地区 592 人（男性 157 人 女性 435 人）（普通食 408 人 特別食 184 人）

碓井地区 223 人（男性 63 人 女性 160 人）（普通食 140 人 特別食 83 人）

嘉穂地区 398 人（男性 107 人 女性 291 人）（普通食 312 人 特別食 86 人）

・延べ配食数（夕食） 56,785 食（普通食 36,236 食 特別食 20,549 食）

内訳 稲築地区 30,473 食（普通食 17,747 食 特別食 12,726 食）

山田地区 13,512 食（普通食 9,577 食 特別食 3,935 食）

碓井地区 4,948 食（普通食 3,034 食 特別食 1,914 食）

嘉穂地区 7,852 食（普通食 5,878 食 特別食 1,974 食）

・一日平均配食数 155.5 食（稲築地区 83.5 食 山田地区 37.0 食 碓井地区 13.5 食 嘉穂地区 21.5 食）

・朝食延べ提供数 4,409 食（稲築地区 2,330 食 山田地区 1,372 食 碓井地区 342 食 嘉穂地区 365 食）

② 衛生管理の徹底

調理員の細菌検査（赤痢・サルモネラ・大腸菌）を 12 回、ノロウイルス細菌検査を 1 回実施した。

③ 配達 山田地区を 2 コース 稲築地区を 3 コース 嘉穂地区を 1 コース 碓井地区を 1 コースの 7 コースに分けて配達した。

④ 転送電話の相談対応 0 件

⑤ 献立ミーティングの開催 12 回開催した。

⑥ 配達時に利用者が不在であった場合の対応

・不在の主な理由 介護サービス利用による外出や通院等

・電話連絡での安否確認 2,734 回（稲築地区 1,463 回 山田地区 536 回 碓井地区 395 回 嘉穂地区 340 回）

地区	令和 4 年度	令和 3 年度	比較増減
稲築地区	1,463	1,327	136
山田地区	536	547	△11
碓井地区	395	449	△54
嘉穂地区	340	329	11
合 計	2,734	2,652	82

・再訪問での安否確認 1,373 回（稲築地区 1,210 回 山田地区 131 回 碓井地区 23 回 嘉穂地区 9 回）

地区	令和 4 年度	令和 3 年度	比較増減
稲築地区	1,210	1,209	1
山田地区	131	54	77
碓井地区	23	38	△15
嘉穂地区	9	20	△11
合 計	1,373	1,321	52

⑦ 利用者への緊急対応

地区	年月日：時間	配達時の状況及び対応
稲築地区	令和 4 年 5 月 18 日（水） 15 時 45 分	配達時に玄関で倒れているところを発見。救急車及び関係機関に連絡を入れた。意識はなく、救急隊員より心肺蘇生の指示を受ける。救急車到着し、死亡確認された。 （一人暮らしの 90 歳代男性で、配食は週 3 回利用）
稲築地区	令和 4 年 11 月 27 日（日） 16 時 00 分	配達時に玄関の鍵は閉まっている。何度か声をかけると返事があり、玄関で転倒して動けないとのこと。緊急連絡先である家族と連絡が取れたが旅行中とのことで近所に応援要請と救急車及び関係機関に連絡を入れた。救急車到着し救急搬送され入院された。 （一人暮らしの 80 歳代男性で、配食は週 2 回利用）
山田地区	令和 5 年 3 月 24 日（金） 16 時 30 分	配達時に不在。再訪問しても不在にて緊急連絡先である知人に連絡する。知人が自宅に様子伺いに行ったが帰宅しておらず自転車で外出していた。立ち寄りそうな場所（畑やコンビニ等）を探したが見つからない状況にて、関係機関に連絡を入れた。周辺を捜索したが見つからず 19:50 に大阪に住む長男の同意を得て親戚と担当課が警察署に捜索願を提出した。3 月 25 日（日）午前 1:30 頃に、飯塚バスセンター付近で警察に無事保護された。 （一人暮らしの 80 歳代女性で、配食は毎日利用）

【参考】配食サービス事業実績の年度別比較

地区名	分類項目	令和4年度	令和3年度	比較増減
稲築地区	延べ利用者数（人）	1,601	1,504	97
	普通食利用者数（人）	964	882	82
	特別食利用者数（人）	637	622	15
山田地区	延べ利用者数（人）	592	719	△127
	普通食利用者数（人）	408	526	△118
	特別食利用者数（人）	184	193	△9
碓井地区	延べ利用者数（人）	223	270	△47
	普通食利用者数（人）	140	154	△14
	特別食利用者数（人）	83	116	△33
嘉穂地区	延べ利用者数（人）	398	402	△4
	普通食利用者数（人）	312	298	14
	特別食利用者数（人）	86	104	△18
利用者合計（人）		2,814	2,895	△81
稲築地区	延べ配食数（食）	30,473	32,483	△2,010
	普通食（食）	17,747	18,624	△877
	特別食（食）	12,726	13,859	△1,133
山田地区	延べ配食数（食）	13,512	15,257	△1,745
	普通食（食）	9,577	11,867	△2,290
	特別食（食）	3,935	3,390	545
碓井地区	延べ配食数（食）	4,948	6,090	△1,142
	普通食（食）	3,034	3,210	△176
	特別食（食）	1,914	2,880	△966
嘉穂地区	延べ配食数（食）	7,852	7,431	421
	普通食（食）	5,878	5,784	94
	特別食（食）	1,974	1,647	327
配食数合計（食）		56,785	61,261	△4,476
稲築地区	一日平均配食数（食）	83.5	89.0	△5.5
山田地区	〃	37.0	41.8	△4.8
碓井地区	〃	13.5	16.7	△3.2
嘉穂地区	〃	21.5	20.3	1.2
一日平均配食数合計（食）		155.5	167.8	△12.3
稲築地区	朝食延べ提供数（食）	2,330	2,694	△364
山田地区	〃	1,372	1,301	71
碓井地区	〃	342	821	△479
嘉穂地区	〃	365	521	△156
朝食延べ提供数合計（食）		4,409	5,337	△928

⑧配食サービス受託（令和6年度以降）に関する意向調査の実施

- ・調査期間 令和4年12月1日（火）～令和4年12月27日（火）
- ・調査対象者 配食サービスに従事する全職員20名（栄養士1名 臨時職員1名 調理員7名 配達員11名）
- ・調査方法 各自設問項目に回答
- ・調査結果 令和5年度末で退職の意向と回答 栄養士 臨時職員 調理員2名
業務の内容がレベルアップしても働けると回答 調理員2名 配達員2名
業務が今のままなら働けると回答 調理員2名 配達員9名

2. 独自事業

(1) チャイルドシート貸出事業

①相談、貸出、返却等窓口業務実績

貸出件数 29 件（新規貸出 5 件 更新貸出 23 件 未更新貸出 1 件）

申請者と乳幼児との間柄

新規貸出						更新貸出						未更新貸出					
父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば
0	3	0	2	0	0	2	11	5	5	0	0	0	1	0	0	0	0

②安全確保のために、定期的な処分と購入

乳幼児用のチャイルドシートを 5 台購入した。（令和 4 年 4 月 20 日）

③チャイルドシートの在庫数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

種類	在庫数
乳幼児用	0
ジュニア用	4

(2) 紙おむつ宅配事業の実施

①相談、配達等の窓口業務

利用者数 6 人 延べ利用数 60 件 販売パック数 185 袋

【利用者内訳】

地区	稲築		碓井		山田		嘉穂	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
利用者数	2	3	0	0	0	0	0	1

【種類別の販売パック数内訳】

商品名	パンツタイプ			テープ止め タイプ	尿取りパット			
	パワフル パンツ 【S】	パワフル パンツ 【M】	パワフル パンツ 【L】	股モレ防止 通気性【M】	紙おむつ専用 安心フィット	パワフル ワイド 【夜用】	スーパー 【男女共用】	レギュラー 【男女共用】
パック 数	18	104	1	3	45	13	1	0

(3) 福祉機器(車いす)貸出事業の実施

①相談、貸出、返却等の相談窓口

車いす貸出件数 23 件

【利用区分】

介護保険の非該当者	介護保険給付による 機器利用ができない	在宅の障がい者	施設・医療機関からの 一時帰宅	市内小・中学校・ 高等学校	その他
5	3	0	1	7	7

②車いすの在庫数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

種類	在庫数
介助式	6
自走式	4

(4) 子育てリユースセンターの運営

延べ利用者 263 人 寄付物品数 3,758 点

リユース品数 1,879 点（児童用衣類 帽子 おもちゃ コンビラック チャイルドシート かばん 絵本 長靴 体操服 学生服など）

(5)バス待合所の管理

①バス待合所実態調査の実施

継続して管理が必要なバス待合所 30カ所（稲築地区）

行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性
漆生本村	漆生本村(上り)	柱の塗装	鴨生第一	鴨生第一(下り)	柱補強・天井補修	辻中竈	中竈(上り)	
漆生本村	沖出(下り)	柱の塗装	鴨生第一	鴨生口第二(上り)	柱補強・天井補修	辻中竈	中竈(下り)	柱の塗装
漆生南部	大坪団地	柱の塗装	鴨生第一	鴨生口第一(上り)	柱の塗装	辻中竈	辻(上り)	柱の塗装
漆生南部	大坪団地(市バス)	屋根補修	鴨生第一	鴨生口第一(下り)	柱補強・塗装	辻中竈	山野社宅	柱の塗装
西岩崎	神社前(上り)	柱の塗装	鴨生第一	稲築交番(上り)	柱補強・屋根補修	緑ヶ丘	緑ヶ丘(上り)	
口春	口の春(下り)		鴨生第一	稲築交番(下り)	柱補強・屋根補修	銭代坊	銭代坊(上り)	
山野第一	山野団地(上り)	壁のひび割れ	鴨生第二	白門(上り)	柱補強・天井補修	銭代坊	銭代坊(下り)	柱の塗装・補修
山野第一	山野(上り)		鴨生第二	白門(下り)	柱補強・天井補修	枝坂	枝坂(上り)	
山野第一	山野(下り)		宮地	宮地(上り)		枝坂	枝坂(下り)	屋根・柱の塗装・補修
鴨生第一	鴨生第一(上り)	柱の塗装	宮地	宮地(下り)	柱の塗装	西岩崎	稲築学校	パネル破損

・実態調査 令和4年2月22日(水)に実施した

②道路占用許可更新 2件

行政区	待合所名	行政区	待合所名
口春	口の春(下り)	山野第一	山野(下り)

③バス待合所の無償譲渡に伴う行政担当課(交通政策課)との協議

1月26日(木)・2月27日(月)実施した。

行政が市内の交通体系を整備する一環で、バス停留所を整備拡充する意向があるため、譲渡できる環境が整ったバス待合所から無償譲渡していく。

(6)アルミ缶等リサイクル事業

①アルミ缶等の換金

換金及び総量 15回 1,420 kg (アルミ缶 6回 670 kg 新聞紙 2回 80 kg 雑誌 1回 170 kg 段ボール 6回 500 kg)

換金額 74,800円 (アルミ缶 67,000円 新聞紙 1,120円 雑誌 1,360円 段ボール 5,320円)

②協力者への回収袋の配布

アルミ缶等の寄付をいただいた方にお礼として回収袋を手渡した。205件(稲築 47件 碓井 5件 山田 67件 嘉穂 11件 その他 75件)

地域福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

【かま生活支援・相談センター】 事業報告

1. 総括

かま生活支援・相談センター（以下「センター」という。）の福祉なんでも相談で対応したのは1,353件（前年比369増）で、そのほか弁護士による法律相談が41件（前年比8件増）、民生委員や人権擁護委員による心配ごと相談での相談が28件（前年比5件増）、新たに始めた公証人による遺言などに関する相談が3件ありました。相談の内容は、家族関係や近所とのトラブル、相続や遺言、子育て、不登校児やひきこもり、生活困窮など、多岐にわたりました。特に、行政から相談が入った2つのケースは地域で孤立し、室内はごみ屋敷状態で、普通の暮らしができる状況にはほど遠いものでしたので、かま福祉ネットワーク委員会に加入する施設職員の協力を得て、かたづけることができました。

この3年間は、コロナウイルス感染防止のために、近所や友達同士の交流が減ったため、地域の方からは、「ご近所さんの抱える困りごとが見えづらくなった」「悩みを相談しづらくなった」と感じている方からの相談が増えました。サロンを運営する方にも話を聞くと、いまだに集まることに抵抗を感じたり、出かけることが億劫になったと感じる方が増えており、途切れてしまったつながりを元に戻すには、今まで以上の声かけや周囲の理解と協力が必要だとの声もありました。

会員の加入については、加入件数が882件（前年比34件減）、会費総額は1,089,000円（前年比1千円減）となりました。

高齢者介護課から受託する生活支援体制整備事業の第2層協議体については、コロナ禍の感染拡大と積雪を理由とする中止が3回ありましたが、その他は計画通り開催することができました。買い物や通院のための移動手段を考えることをテーマにした協議体では、参加者が利用しやすいバス新聞を作成しました。コロナ禍での見守り活動を考えることをテーマにした協議体では、郵便受けや洗濯物の状況から安否を確認したり、ガス会社や宅配業者と連携した見守り方法など、様々な意見が出ました。Zoomにより開催した全体会では、島根県浜田市社会福祉協議会が行っているゆるやかな見守りについて話を聞きました。玄関を網戸にするだけでご近所さんが気軽に声をかけてくれるようになったり、ぶら下げタイプの虫よけを安否確認の目印にしたりと、ちょっとした工夫で見守り見守られる関係が広がっており、見守りの方法は、日常生活の中にあり、発想一つであることを学びました。

また、おしゃべりサロンで出会った母親からの相談を通して、子どもが不登校となったり、発達障がいではないかと悩んでいる方がおられることを知り、まずはその方々とながめるためのサロンを開催しました。

2. 事業実績

(1) 相談窓口の開設

①福祉なんでも相談（24時間365日）の受け付け

相談件数 1,353件（稲築地区482件、碓井地区286件、山田地区106件、嘉穂地区393件、市外86件）

男性126件、女性227件、団体等1,000件

来所21件 時間外来所3件 訪問954件 時間外訪問1件 電話295件 転送電話3件 メール31件 その他45件

②法律相談 相談件数41件（稲築20件、碓井7件、山田12件、嘉穂2件）

相談分類：借金や未払い10件、近隣住民トラブル11件、家族間トラブル5件、不動産トラブル1件、

消費者トラブル1件、交通事故の保険金請求1件、相続8件、遺贈1件、その他3件

③心配ごと相談 相談件数28件（稲築地区27件 碓井地区0件 山田地区1件 嘉穂地区0件）

相談分類：近隣住民トラブル27件、自宅の照明交換1件

④公証人による無料相談 相談件数3件（稲築地区1件 碓井地区0件 山田地区1件 嘉穂地区1件）

相談分類：任意後見・相続・遺言2件、家屋の滅失登記1件

(2) 会員の募集及び拡充

①会員募集啓発チラシの配布

事業の啓発チラシを作成し、福祉推進員（稲築地区）や会員募集世話人（山田地区）の方々の協力を得て加入を呼びかけた。

②山田地区会員募集世話人会の開催

開催年月日/令和4年8月2日（火）加者数/14名 開催場所/山田ふれあいハウスホール

内容/1. 令和4年度会員募集のお願いについて（世話人別会員募集資材等について） 2. 会員募集に関する意見交換について 3. その他

③会員加入状況

地区名	個人会員		法人・団体会員		在宅福祉サービス会員				福祉機器 利用会員		空き家管理 サービス 利用会員		合計	
					地域支えあい 事業		在宅介護者の 集い							
	会員数 (件)	金額(円)	会員数 (件)	金額(円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額(円)
稲築地区	568	572,000	13	161,000	1	1,000	0	0	13	13,000	1	1,000	596	748,000
碓井地区	6	7,000	0	0	1	1,000	0	0	2	2,000	0	0	9	10,000
山田地区	206	209,000	9	53,000	1	1,000	0	0	6	6,000	0	0	222	269,000
嘉穂地区	37	42,000	0	0	1	1,000	0	0	10	10,000	0	0	48	53,000
市外	2	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5,000	7	7,000
合計	819	832,000	22	214,000	4	4,000	0	0	31	31,000	6	6,000	882	1,087,000

(3) 生活支援体制整備事業の推進（市受託事業）

①協議体の開催

・全体会の開催

日時・会場	内 容	参加者
令和5年3月8日(水) 13:30~15:00 嘉麻市社会福祉協議会（リモートで開催）	浜田市におけるゆるやかな見守り活動について 発表者 社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会 第1層SC 田邨 真紀夫さん、第2層SC 岡本真奈さん	参加者 14名 (市民5名、高齢者介護リモート参加 9名)

・なつきちゃんにし（稲築西校区）

	日時・会場	内 容	参加者
第1回	令和4年4月14日(木) 10:00~11:00 稲築地区公民館	・見守りの仕組みづくりについて	参加者 5名(市民等 2名、高齢者介護課 3名)
第2回	令和4年5月12日(木) 10:00~11:00 山野第一公民館	・協議体の説明 ・山野第一行政区住民の困りごとについて ・協議体のテーマと今後の進め方について	参加者 11名(市民等 9名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介護課 1名)
第3回	令和4年6月9日(木) 10:00~11:00 口春公民館	・口春行政区住民の困りごとについて ・協議体のテーマと今後の進め方について	参加者 16名(市民等 13名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介護課 2名)
第4回	令和4年8月25日(木) 10:00~11:00 稲築地区公民館	・地域の活動や情報を見える化するためには	参加者 5名(市民等 3名、高齢者介護課 2名)
第5回	令和4年9月15日(木) 10:00~11:00 稲築地区公民館	・地域の活動や情報を見える化するためには	参加者 6名(市民等 3名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介護課 2名)
第6回	令和4年10月13日(木) 13:30~14:30 山野第一公民館	・山野第一行政区で見守り体制を強化するために	参加者 7名(市民等 7名)
第7回	令和4年11月17日(木) 10:00~11:00 口春公民館	・口春行政区で見守り体制を作っていくために ・市バスの利用について	参加者 14名(市民等 12名、高齢者介護課 2名)
第8回	令和4年12月8日(木) 10:00~11:00 稲築地区公民館	・協議体の振り返りと全体会の内容について ・令和5年度の協議体について	参加者 4名(市民等 2名、高齢者介護課 2名)
第9回	令和5年1月18日(水) 10:00~11:00 樋渡公民館	・樋渡行政区住民の困りごとについて	参加者 13名(市民等 11名、高齢者介護課 2名)
第10回	令和5年2月9日(木) 10:00~11:00 稲築地区公民館	・災害について ・メンバーや地域の心配ごとについて ・全体会について	参加者 4名(市民等 2名、高齢者介護課 2名)

・なつきちゃんにしの活動状況及び課題

7月は開催予定の行政区から、新型コロナウイルス感染拡大の不安があるとの申し出があり中止となったが、10回開催することができ延べ85人が参加した。すでに独居高齢者の見守り活動を行っている山野第一行政区でも、ネットワーク委員会会員の高齢化が課題になっており、訪問するだけでなく、行政区全体で近所に住む方を気にかけてあう意識を高め、何かあったときに連携を図っていく方法について考えることになった。また、市バスを上手に利用できないとの声が上がった口春行政区では、地図を使ってルートを見える化し、目的地に合わせたバス新聞を作成することになった。顔の見える関係づくりは、行政区単位が望ましいと考え、行政区長会を介して、令和5年度の協議体を開催するための意向調査を行った。

・なつきちゃんひがし（稲築東校区）

	日時・会場	内 容	参加者
第1回	令和4年4月21日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・見守り活動について	参加者 11名 (市民等 9名、高齢者介護課 2名)
第2回	令和4年5月19日(木) 10:00~11:00 平東公民館	・出前講座「嘉麻市の交通機関のしくみについて」	参加者 20名 (市民等 14名、在宅介護支援センター 1名、地域活性推進課 3名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和4年6月30日(木) 10:00~11:00 枝坂公民館	・枝坂行政区住民の困りごとについて	参加者 10名 (市民等 7名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介護課 2名)

第4回	令和4年7月21日(木) 10:00~11:00 鴨生第二公民館	・自主防災組織の活動について ・行政区内の見守り活動について	参加者 11名 (市民等 8名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第5回	令和4年8月18日(木) 10:00~11:00 銭代坊公民館	・見守りの仕組みづくりや地域のつながりを作っていく方法について	参加者 12名 (市民等 9名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第6回	令和4年9月29日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・見守り活動の強化について	参加者 14名 (市民等 12名、高齢者介護課 2名)
第7回	令和4年11月1日(火) 15:00~16:00 平東公民館	・地域で気になる方の情報共有について	参加者 6名 (市民等 6名)
第8回	令和4年11月10日(木) 10:00~11:00 枝坂公民館	・地域で気になる方の情報共有及び緊急時の対応について	参加者 10名 (市民等 7名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第9回	令和4年12月22日(木) 10:00~11:00 鴨生第二公民館	・行政区内の活動を見える化するためには	参加者 12名 (市民等 9名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第10回	令和5年1月19日(木) 10:00~11:00 鴨生北町公民館	・鴨生北町行政区住民の困りごとについて	参加者 5名 (市民等 2名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第11回	令和5年2月16日(木) 10:00~11:00 銭代坊公民館	・見守りの仕組みづくりについて	参加者 7名 (市民等 3名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 3名)

・なつきちゃんひがしの活動状況及び課題

6つの行政区で協議体を11回開催し、延べ116人が参加した。平東行政区では、交通政策課から交通機関の仕組みについて話を聞いたのち、地域福祉部のメンバーが集まってバス新聞を作成し、全戸に配布した。他の5行政区では、サロンや自主防災組織のメンバーが中心となって、見守りや声かけを意識的にしているが、それぞれに課題を抱えていることがわかった。訪問するだけでなく、日ごろから隣近所で気にかけることのできる見守りのポイントをまとめていくことになった。顔の見える関係づくりは、行政区単位が望ましいと考え、行政区長会を介して、令和5年度の協議体を開催するための意向調査を行った。

・嘉麻い隊うすい(碓井校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和4年4月15日(金) 13:30~14:30 上臼井東公民館	・上臼井東行政区住民の困りごとについて	参加者 11名(市民等 10名、高齢者介護課 1名)
第2回	令和4年5月20日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・飯田行政区住民の困りごとについて ・見守りの仕組みづくりの方法について	参加者 6名(市民等 4名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和4年6月17日(金) 13:30~14:30 昭嘉公民館	・昭嘉行政区の困りごとについて	参加者 9名(市民等 7名、高齢者介護課 2名)
第4回	令和4年7月15日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・笹原行政区の困りごとと今後の協議体の進め方について	参加者 2名(高齢者介護課 2名)
第5回	令和4年8月24日(水) 13:30~14:30 光代塚田公民館	・見守り活動について	参加者 8名(市民等 6名、高齢者介護課 2名)
第6回	令和4年9月16日(金) 13:30~14:30 上臼井東公民館	・上臼井行政区住民の移動について	参加者 5名(市民等 4名、高齢者介護課 1名)
第7回	令和4年10月21日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・Aさんの見守り居ついて	参加者 9名(市民等 6名、高齢者介護課 3名)
第8回	令和4年11月18日(金) 13:30~14:30 昭嘉公民館	・市バスを使った移動について ・見守り活動について	参加者 7名(市民等 5名、高齢者介護課 2名)
第9回	令和4年12月16日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・地域の集まりや見守り活動について ・市バスについて	参加者 7名(市民等 5名、高齢者介護課 2名)

第10回	令和5年2月17日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・地域の集まりや見守り活動について	参加者 10名(市民等 8名、高齢者介護課 2名)
------	--------------------------------------	-------------------	---------------------------

・嘉麻い隊うすいの活動状況及び課題

協議体を10回開催し延べ74人が参加した。昭嘉行政区と上臼井東行政区では、移動手段について話し合い、市バスの時刻表を確認し、目的地までのルート確認をみんなで行った。笹原行政区では、ラジオ体操を継続しており、参加者同士の安否確認ができているとのことだった。飯田行政区では、ゆるやかな見守りについて意見交換したところ、個人情報指摘する声があった。また、日頃の関わりの中で近隣同士が様子を気にかけてあげることができており必要ないとのことだったため、活動に結び付けることができなかった。光代行政区では、地図を使って高齢者世帯や空き家などを色分けしてもらったが、大雪により協議体が中止となったため、来年度、地図を活用し、見守り活動について話し合う予定となっている。

・あつとふるやまだ(山田校区)

	日時・会場	内 容	参加者
第1回	令和4年4月26日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・コロナ禍での地域活動を聞き取り ・市バスについて ・今後の協議体について	参加者 7名 (市民等 4名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第2回	令和4年5月24日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・尾浦第二行政区バス新聞作成に向けて (行き先、ルート、その他記載内容の確認)	参加者 10名 (市民等 7名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第3回	令和4年6月28日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・尾浦第二行政区バス新聞作成に向けて (ルート、その他記載内容の確認)	参加者 6名 (市民等 3名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第4回	令和4年7月26日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・尾浦第二行政区バス新聞作成に向けて (嘉麻市のお得情報、他市の交通機関等の確認)	参加者 5名 (市民等 3名、高齢者介護課 2名)
第5回	令和4年8月23日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・尾浦第二行政区バス新聞作成に向けて (嘉麻市のお得情報、他市の交通機関等の確認) ・地域で気になる方の情報共有	参加者 9名 (市民等 6名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第6回	令和4年9月27日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・尾浦第二行政区バス新聞作成に向けて (他市の交通機関等の確認) ・災害被害の確認	参加者 7名 (市民等 4名、在宅介護支援センター 1名、高齢者 介護課 2名)
第7回	令和4年10月25日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・バス新聞の記載事項について (地域のお得情報など) ・今後の協議体について	参加者 8名 (市民等 6名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介 護課 1名)
第8回	令和4年11月22日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・前回の振り返り ・見守り活動について ・来年度の協議体について	参加者 7名 (市民等 4名、在宅介護支援センター 1名、高齢者介 護課 2名)
第9回	令和4年12月13日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・地域行事について ・見守り活動について	参加者 6名 (市民等 3名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第10回	令和5年2月28日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・地域行事について ・見守り活動について	参加者 6名 (市民等 3名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)

・あつとふるやまだの活動状況及び課題

協議体を10回開催し、延べ71人が参加した。昨年に続いて移動に困っている行政区のバス停を発着するバス新聞を作成し、嘉麻市役所交通政策課へ、通勤や通院に利用しやすい時間について提案した。11月からは、地域の見守り活動についての話し合いを始めたが、昔と比べると地域のつながりが希薄化し、プライバシーを重視する家庭もあるため、見守り活動の難しさを感じるなどの意見があった。地域住民の負担にならず、日常生活のなかで自然に見守ることができる方法について話し合うとともに、民生委員と連携したあんしんカードの作成に取り組んでいきたいと考えている。

・嘉穂ますます会(嘉穂校区)

	日時・会場	内 容	参加者
第1回	令和4年4月18日(月) 13:30~14:30 夢サイトかほ	・全体会の報告 ・市バス、デマンド運行型バスについて ・ちょっとした困りごとについて	参加者 6名 (市民等 5名、高齢者介護課 1名)
第2回	令和4年5月16日(月) 13:30~14:30 旧官野小学校	・デマンド運行型バスの利用状況について ・地域の集まり(ふれあいいきいきサロン) ・見守りの仕組みづくりについて	参加者 10名 (市民等 6名、高齢者介護課 4名)

第3回	令和4年6月20日(月) 13:30~14:30 千手いこいの家	・お試し市バス乗車の報告 ・見守り活動の手引き作成に向けて	参加者 7名 (市民等 5名、高齢者介護課 2名)
第4回	令和4年7月25日(月) 13:30~14:30 下午隈公民館	・見守り活動の手引き作成に向けて	参加者 10名 (市民等 8名、高齢者介護課 2名)
第5回	令和4年8月22日(月) 13:30~14:30 足白公民館	・見守り活動の手引き作成に向けて ・地域で気になることを情報共有	参加者 5名 (市民等 3名、高齢者介護課 2名)
第6回	令和4年9月12日(月) 13:30~14:30 夢サイトかほ	・見守り活動の手引き作成に向けて ・地域で気になることを情報共有	参加者 6名 (市民等 4名、高齢者介護課 2名)
第7回	令和4年10月17日(月) 13:30~14:30 旧官野小学校	・見守り活動の手引き作成に向けて ・地域で気になることを情報共有 ・今後の協議体について	参加者 5名 (市民等 3名、高齢者介護課 2名)
第8回	令和4年11月21日(月) 13:30~14:30 千手いこいの家	・前回の振り返り ・千手行政区について (地図を活用し情報を見る化)	参加者 4名 (市民等 2名、高齢者介護課 2名)
第9回	令和4年12月19日(月) 10:00~11:00 下午隈公民館	・前回の振り返り ・下午隈行政区について (地図を活用し情報を見る化)	参加者 8名 (市民等 6名、高齢者介護課 2名)
第10回	令和5年1月23日(月) 13:30~14:30 足白公民館	・前回の振り返り ・足白行政区について (地図を活用し情報を見る化)	参加者 4名 (市民等 2名、高齢者介護課 2名)
第11回	令和5年2月20日(月) 13:30~14:30 夢サイトかほ	・前回の振り返り ・嘉穂校区の行事について ・米年度の協議体について	参加者 5名 (市民等 3名、高齢者介護課 2名)

・嘉穂ますます会の活動状況及び課題

協議体を11回開催し延べ70人が参加した。令和4年5月に校区の住民3名とお試しの市バス乗車体験(碓井方面)を実施した。参加者からは地域の方にもデマンドバスの利用を勧めたいとの声が聞かれた。また、高齢者の見守り活動については、緩やかな見守りがあるとの気づきから、チェックポイントをまとめ、地域の方と共有できるよう作成を進めた。足白地区、千手、下午隈行政区では地図を使用し、高齢者世帯や空き家、災害のリスクが高いところを色分けし、世帯状況の把握を進めた。

②民間企業等と連携したWin Win事業(お互い様の関係づくり)の推進

・啓発活動

就労的活動支援コーディネーターを配置して、これまでの経験や特技を生かして地域とつながりたいと思っている高齢者等と日常業務では手が回らず、手助けがあったらいいなど思っている民間企業や福祉施設とをコーディネートし、お互い様の関係づくりを広げていくことを目的とするWinWin事業の啓発に努めた。手助けを必要としている福祉施設からは、施設内の草刈りや花壇の整理、子どもたちの学習支援、公用車の洗車などのニーズがあった。

・手助けを求めた福祉施設及び内容 1施設(かほの森) 花壇の整備

・特技等を活かしての活動 2名の方のマッチングを試みたが、日程と希望するニーズが合わず、活動にはつながらなかった。

(4) 稲築、碓井、山田、嘉穂地域福祉推進委員会の開催

- ・稲築地域福祉推進委員会 2回(第39~40回) 延べ出席者数15名 5月10日(火)、2月20日(月)
- ・碓井地域福祉推進委員会 2回(第41~42回) 延べ出席者数15名 5月10日(火)、2月27日(月)
- ・山田地域福祉推進委員会 2回(第36~37回) 延べ出席者数18名 5月11日(水)、2月20日(月)
- ・嘉穂地域福祉推進委員会 2回(第40~41回) 延べ出席者数23名 5月13日(金)、2月14日(火)

(5) 地域福祉部の拡充・活動支援

①地域福祉部に対する活動助成 助成件数19件 助成額499,000円(稲築地区)

②福祉推進委員会の開催 回数5回 延べ出席者数93人(稲築地区)

③福祉推進員代表者会の開催 回数6回 延べ出席者数30人(稲築地区)

④福祉推進員ブロック別懇談会の開催 内容/地域福祉部の役割とサロン参加者の緊急対応について話し合った。

- ・第1ブロック 開催年月日 令和5年1月16日(月) 出席者数 3名 会場 才田第二公民館
- ・第3ブロック 開催年月日 令和5年1月14日(金) 出席者数 3名 会場 山野第二公民館
- ・第4ブロック 開催年月日 令和5年1月17日(火) 出席者数 4名 会場 鴨生町公民館
- ・第5ブロック 開催年月日 令和5年1月11日(水) 出席者数 6名 会場 平第二公民館

※漆生中央行政区は第1ブロック参加、東岩崎行政区は第3ブロック参加

⑤行政区での住民懇談会及び出前講座の開催

- ・稲築地区 ・平東行政区 地域福祉部及び民生委員とバス新聞の作成に向けて話し合った。令和4年5月23日(火)
- ・嘉穂地区 ・嘉穂地区委員児童委員協議会にて、協議体の案内を行った。令和4年5月19日、7月21日、9月15日、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日、3月16日(全て木曜日)

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充・活動支援

①ふれあい・いきいきサロン代表者会の開催 2回

- ・3地区合同ふれあい・いきいきサロン代表者会 令和4年4月6日(水) 参加者数 11名
- ・稲築地区ふれあい・いきいきサロン代表者会 令和4年4月7日(木) 参加者数 14名

②ふれあい・いきいきサロン活動に対する活動費の助成

- ・設置状況 35か所(稲築地区18件、碓井地区6件、山田地区5件、嘉穂地区6件)
- ・助成件数 34件(稲築地区18件、碓井地区6件、山田地区5件、嘉穂地区5件)
- ・助成額 848,980円(稲築地区398,360円、碓井地区163,290円、山田地区126,850円、嘉穂地区160,480円)
- うち新規設置件数2か所(稲築地区1件、碓井地区1件)

③情報提供活動及び映画上映、出前講座等による活動支援

- ・稲築地区 ・漆生南部サロンにて出前講座「地域福祉部の役割について」を行った。令和4年4月17日(日)
- ・鴨生北町サロンにて出前講座「災害に備えて」を行った。令和5年1月10日(火)
- ・碓井地区 ・光代いきいきサロンにて映画上映を行った。令和4年5月13日(金)
- ・山田地区 ・木城サロンにて映画上映を行った。令和4年4月8日(金)
- ・中央サワラデ福寿会にて映画上映を行った。令和4年4月28日(木)、6月17日(金)
- ・友愛サロンにて(神幸行政区)にて、安心カードの活用方法について説明した。令和4年12月6日(火)
- ・下宮サロンにて映画上映を行った。令和5年1月23日(月)
- ・嘉穂地区 ・上牛隈サロンにて、地図を使って見守りや声かけについて話し合った。令和4年12月5日(月)

(7) もしもの時に備えるあんしんカードの拡充

- ・民生委員6名から、担当地区の高齢者等27名の安心カードの提出があった。

(8) 地域支えあい事業の推進

①相談の受付及び登録、コーディネート業務

- ・提供回数12回(稲築地区2回 碓井地区1回 山田地区5回 嘉穂地区4回)
- ・提供時間時間22時間(稲築地区5時間 碓井地区1時間 山田地区8時間 嘉穂地区8時間)
- ・提供内容 草取り(2回 5時間30分) / 草刈り(5回 13時間30分) / 害虫駆除(5回 3時間)

②登録状況 利用会員 登録者数49名(入会者2名 退会者0名)

協力会員 登録者数26名(入会者0名 退会者0名)

(9) 社会福祉法人の社会貢献活動を広げるための事業推進

①かま福祉ネットワーク委員会加入法人 14法人 22施設

- ・嘉穂郡社会福祉協会(嘉麻学園、かほの森、松寿園)・愛光会(清浄学園)・嘉穂福祉会(三愛園、三光園)・稲築福祉会(誠心園)
- ・翼会(つばさ学園)・恵寿会(山田学園)・嘉穂の里(さくら学園、第2さくら学園)・稲穂会(稲穂園、第二稲穂園)
- ・内野会(シルバーケア嘉穂)・筑豊会(筑豊園、うすいの里)・山田福祉会(たちばな苑)
- ・ひまわり会(ひまわり園、ほ乃ぼの園、ユニットひまわり)・山田慈恵会(ケアハウスやまだきしろ)・嘉麻市社会福祉協議会

②かま福祉ネットワーク委員会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和4年4月19日(火) 参加者数 12法人 17施設 25名
内容/勉強会「新型コロナウイルス感染症施設内クラスターの発生時の経過と対応」
講師 社会福祉法人 嘉穂福祉会 軽費老人ホーム三光園 中村 裕介さん
委員長・副委員長の選任について、福岡県共同募金会嘉麻市支会理事の推薦について、令和3年度の活動報告
- ・第2回 開催年月日 令和4年9月20日(火) 参加者数 13法人 18施設 27名
内容/グループワーク「テーマ①BCP計画の進捗状況、②委員会で取り組みたいこと」
- ・第3回 開催年月日 令和5年1月17日(火) 参加者数 13法人 17施設 20名
内容/研修会 「福岡県災害派遣福祉チーム(福岡 DWAT)について」
講師:福岡県社会福祉協議会災害福祉支援センター所長 山本 あゆみ
監事・会計の選任について

③かま福祉ネットワーク委員会役員会の開催

- ・開催年月日 令和4年6月10日(金) 参加者数 8名
内容/役員紹介、Oさんの立替支援について、Tさんの片づけについて、第2回ネットワーク委員会について
- ・開催年月日 令和5年1月17日(火) 参加者 8名 内容/Nさんの片づけについて
- ・開催年月日 令和5年3月31日(金) 参加者 7名 内容/監査、令和5年度の取り組みについて

④かま福祉ネットワーク委員会での支援活動

- ・屋内がゴミ屋敷状態となって、自分ではどうすることもできなくなった2つのケースの片づけを行った。
実施日 令和5年6月15日(水) 参加者数 4法人4施設7名 (参加施設:松寿園、三愛園、山田学園、嘉麻市社協)
実施日 令和5年2月2日(木)、2月24日(金)
延べ参加者数 7法人8施設27名 (参加施設:松寿園、三愛園、清浄学園、山田学園、やまだきしろ、第二さくら学園、高齢者介護課、福岡県社協、嘉麻市社協)

⑤会費の拠出 かま福祉ネットワーク委員会に加入している13法人から105,000円の会費を拠出してもらい、かま自立相談支援センターで受けたOさんの車検代の立替200,000円、2件の片づけにかかる費用110,485円を支払ってもらった。

⑥かま福祉ネットワーク委員会の活動

⑦かまワン相談員との連携 生活に困窮す家庭の相談を受けたかまワン相談員からの相談が1件あり、対応について一緒に検討した。

⑧ふくおかライフレスキュー事業嘉麻市部会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和4年4月19日(火) 参加者数 12法人17施設25名
内容/勉強会「新型コロナウイルス感染症施設内クラスターの発生時の経過と対応」
講師 社会福祉法人 嘉穂福祉会 軽費老人ホーム三光園 中村 裕介さん
委員長・副委員長の選任について、福岡県共同募金会嘉麻市支会理事の推薦について、令和3年度の活動報告
- ・第2回 開催年月日 令和4年9月20日(火) 参加者数 13法人18施設27名
内容/グループワーク「テーマ①BCP計画の進捗状況、②委員会で取り組みたいこと」
- ・第3回 開催年月日 令和5年1月17日(火) 参加者数 13法人17施設20名
内容/研修会「福岡県災害派遣福祉チーム(福岡DWAT)について」
講師:福岡県社会福祉協議会災害福祉支援センター所長 山本 あゆみ
監事・会計の選任について

⑨ふくおかライフレスキュー事業による支援

- ・生活に困窮した状態で相談につながった1件の生活を立て直すため、現物支給による支援を行なった。支払いに要する費用は本会で一旦立て替えた後、福岡県社協から戻入される仕組みとなっている。現物支給に伴う費用は60,898円となった。

(10) 広報活動の推進

①広報紙「えがお」の発行 発行回数4回(No170~No173) 発行部数3,600部/1回(フルカラー)

嘉麻市役所や図書館、郵便局、医療機関やスーパーなど21か所に置いてもらったほか、行政区長や福祉推進員の協力が得られた38行政区に配布した。
No.170からQRコードを掲載し、本会のホームページにリンクするようにした。

②ホームページやSNSを使った情報発信 ブログやFacebookで法律相談の案内や本会の地域活動などについて16回発信した。

(11) 地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業

①ハウス敷地内及び駐車場の草刈り 令和4年6月4日(土)、10月27日(木)

②一時宿泊利用 生活支援課から2件の相談はあったが、他に対応できる手立てがあったため、宿泊には至らなかった。

(12) おしゃべりサロンの開催

①生きづらさを抱える子とその父母等を対象としたおしゃべりサロンの開催

- ・第1回 開催年月日/令和4年12月18日(日) 参加者1名 内容/エコバックづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。
- ・第2回 開催年月日/令和5年1月22日(日) 参加者9名 内容/アロマバームやスプレーづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。
- ・第3回 開催年月日/令和5年2月26日(日) 参加者5名 内容/コースターやキーホルダーづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。

②生きづらさを抱える子とその父母等を対象とした勉強会の開催

- ・開催年月日/令和5年3月22日(水) 参加者2名
内容/座談会「子どもと笑顔で向き合える子育てについて話そう」 アドバイザー:株式会社 済々商舎 南川 悠さん

(13) 在宅介護者支援事業

①在宅介護者の集い

定例会の開催12回 延べ参加者数41名

②認知症家族の集い

定例会の開催10回 延べ参加者数25名(7月、8月は中止)

(14) 空き家管理住まいのサービスの推進

①基本サービスの提供

相談件数0件(稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区0件)
管理家屋7軒(稲築地区4軒 碓井地区2軒 山田地区1軒)
基本サービス提供回数85回(稲築地区49回 碓井地区24回 山田地区12回)
有事後の巡回21回(稲築地区12回 碓井地区6回 山田地区3回)
基本サービス提供時間119時間15分(稲築地区65時間15分 碓井地区36時間 山田地区18時間)

②オプションサービスの提供

オプションサービス提供回数2回（草刈り1回 草取り1回）

オプションサービス提供時間6時間（草刈り5時間 草取り1時間）

(15) 共同募金運動への協力

①街頭募金への協力

- ・募金ボランティアの募集

福岡県共同募金嘉麻市支会が市内スーパー等の店頭で実施した街頭募金は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、本会職員が募金ボランティアとして協力した。

②戸別募金への協力

- ・募金使途についての啓発

福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、共同募金の配分の流れや使途をまとめたチラシを作成した。

（このチラシは嘉麻市支会が各地区行政区長会の協力を得て、全戸に配布した）

③職域募金への協力

- ・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、職場など（84カ所）へ募金の協力を呼びかけた。

④法人募金への協力

- ・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、企業など（186カ所）へ募金の協力を呼びかけた。

地域福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

【かま権利擁護センター】 事業報告

1. 総括

今年度、かま権利擁護センター（以下「センター」という。）で受けた相談は3,396件（前年比909減）でした。日常生活自立支援事業（以下「日常事業」という。）については、新規契約は16件で利用者数は46人（前年比6人増）となりました。また、本会の独自事業である地域福祉権利擁護事業（以下「地権事業」という。）は、判断能力はあるものの、病気やけが等の理由で医療費や光熱水費等の支払いができないなど、日常生活に支障のある方を支援しているもので、新規契約は1件で利用者は10人（前年比3人減）となりました。

センターへ寄せられた相談のほとんどは医療機関や福祉関係者からで、内容は「家計が回らず必要な福祉サービスの利用ができない」「支払いを優先してしまい生活費がない」などで、中には食べるもがない状況になっても関係者だけが心配し、本人には困りごと感がなく、契約には至らないケースも目立ちました。その一方で、一旦は契約を終了したものの、突発的な支払いに対応できなくなったり、債務が膨れて生活費を確保できなくなったため、再度利用を希望する方もおられ、この事業においては、「金銭面の困りごとを解決して安心して生活したい」という本人の強い気持ちと、それを支える支援者との信頼関係が大切であることを、あらためて感じました。

また、利用者の中には、知人に騙されて複数の携帯電話を契約し、多額の借金を負わされたり、自身の感情をコントロールすることができず、届けた生活費を全額パチンコに充ててしまう方もおられ、このような場合は上記事業の支援だけでは解決することができないため、弁護士や医療機関、福祉関係者との連携が重要となります。

法人後見の受任については、2人の方が亡くなられたことから、本会での受任は7人（法人後見3人、保佐3人、未成年後見1人）となりました。また、センターには、市内だけでなく県外に住む身寄りがない方からも、ご自身が認知症となったり亡くなった後のことを心配して、任意後見制度に関する相談がありました。現在、日常事業や地権事業を利用している方の中にも、親族が全くいない方やいたとしても様々な理由から関係が壊れ、入院時の身元保証人や亡くなった後の事を親族に担ってもらえず、やむを得ず直葬という形をとらざるを得ない方や納骨先がない方もおられました。そのため、令和5年1月末に日常事業と地権事業の利用者55人を対象に家族状況調査を行ったところ、16人（29%）は交流している家族がおらず、6人（10.9%）は相続人がわからない、14人（25.4%）は死後の手続きをしてくれる親族や知人もいないことがわかりました。平成28年に施行された「成年後見の事務の円滑を図るための民法及び家事事件手続き法の一部を改正する法律」では、成年後見人が成年被後見人の遺体の引き取りや火葬、生前にかかった医療費や公共料金等の支払いなどの死後事務ができるようになりましたが、日常事業や地権事業では、支援していた方が亡くなるとその時点で預貯金等は相続人の財産となるため、このような死後事務を行うことはできないことになっています。しかし、親族が関係を拒否していたり、天涯孤独の状況にある方はなすすべがなく、本会が死後事務の一部を代行している実態もあるため、今後は任意後見契約及びそれを補完する継続の見守り委任契約や死後事務委任契約に基づく事業の立ち上げに向けて、取り組む必要性を感じています。

2. 事業実績

(1) 相談件数 3,396件（男性 1,413件 女性 1,983件）

（来所63件、訪問517件、電話2,779件、転送電話36件、メール1件）

(2) 情報発信・啓発活動

- ・ホームページにセンターのページを設けて事業や成年後見制度の啓発を行った。
- ・広報紙「えがお」No.172において、身寄りがない方や家族と関係が切れた方の死後事務について掲載した。

(3) 日常生活自立支援事業の推進

①福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理サービスの実施

新規契約件数 16件（稲築地区4件 碓井地区2件 山田地区6件 嘉穂地区4件）
利用者数 46人（稲築地区15人 碓井地区14人 山田地区11人 嘉穂地区6人）
支援回数 886回（稲築地区259回 碓井地区314回 山田地区235回 嘉穂地区78回）
支援時間 943時間50分（稲築地区290時間20分 碓井地区338時間40分 山田地区244時間50分 嘉穂地区70時間）

②書類等預かりサービスの実施

新規契約件数 1件（稲築地区1件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区0件）
利用者数 7人（稲築地区1人 碓井地区2人 山田地区4人 嘉穂地区0人）
保管物品 7点 普通預金通帳6冊 厚生年金基金連合会通算年金証書1通
保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

(4) 本会独自の地域福祉権利擁護事業の推進及び権利擁護支援の実施

①金銭管理・生活支援サービスの実施

新規契約件数 1件（稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区1件）
利用者数 10人（稲築地区5人 碓井地区2人 山田地区3人 嘉穂地区0人）
支援回数 247回（稲築地区108回 碓井地区71回 山田地区53回 嘉穂地区15回）
支援時間 275時間30分（稲築地区123時間25分 碓井地区80時間5分 山田地区44時間20分 嘉穂地区27時間40分）

②財産保管サービスの実施

新規契約件数 0件（稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区0件 市外0件）
利用者数 0人（稲築地区0人 碓井地区0人 山田地区0人 嘉穂地区0人 市外0人）
保管物品 0点
保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

③支援員会議の開催 12回 延べ参加者数 90人

④地域福祉権利擁護事業 運営審議会委員の改選

任期は、令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

選出区分	氏名	所属団体
医療関係者	定村 信吾	社会保険稲築病院
福祉関係者	横山 利恵子	嘉麻市手をつなぐ育成会
法律関係者	松尾 朋	松尾・足立法律事務所
学識経験者	本郷 秀和	公立大学法人 福岡県立大学
行政関係者	上村 美智子	嘉麻市高齢者介護課 高齢者相談支援センター
行政関係者	中島 京子	嘉麻市社会福祉課 障がい者福祉係

(5) その他権利擁護支援の実施

①権利擁護支援 運営委員会委員の改選

任期は、令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

選出区分	氏名	所属団体
医療関係者	定村 信吾	社会保険稲築病院
福祉関係者	横山 利恵子	嘉麻市手をつなぐ育成会
法律関係者	松尾 朋	松尾・足立法律事務所
学識経験者	本郷 秀和	公立大学法人 福岡県立大学
行政関係者	上村 美智子	嘉麻市高齢者介護課 高齢者相談支援センター
行政関係者	中島 京子	嘉麻市社会福祉課 障がい者福祉係
福祉関係者	藤嶋 勇治	NPO 法人嘉飯桂ネット BASARA
金融機関関係者	奥本 加奈子	福岡嘉穂農業協同組合 山田支所

②権利擁護支援 運営委員会の開催

開催年月日	出席者数	場所	協議内容
令和4年4月27日(水)	5人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見受任者の定期監査報告、個人別の状況報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、法人後見マニュアルについて、昨年8月から寄ってこハウスを利用してもらいながら支援をしていた19歳の少年のその後について
令和4年7月19日(火)	6人	山田ふれあいハウス 会議室	委員長・副委員長の互選、嘉麻市社会福祉協議会権利擁護支援の仕組みについて、法人後見受任者の定期監査報告、個人別の状況報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、釧路市社協における使途不明金について(新聞報道)
令和4年10月14日(金)	8人	山田ふれあいハウス 会議室	新委員の紹介、法人後見受任者の定期監査報告、個人別の状況報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、八代市社協(熊本県)職員による不正支出事案について、登別市社協(北海道)職員による不正支出事案について
令和5年2月3日(金)	6人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見受任者の定期監査報告、個人別の利用状況報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、支援の中で抱える課題について

③地域福祉権利擁護事業 運営審議会の開催

開催年月日	出席者数	場所	協議内容
令和4年7月19日(火)	5人	山田ふれあいハウス 会議室	委員長・副委員長の互選、新規ケースにおける法人後見の受任報告について

④遺言公正証書作成支援事業の実施 利用件数0件

⑤生活再建に向けた諸費立替事情の実施 利用件数0件

(6) 法人後見等の実施及び積極的受任

①財産管理、身上監護の実施

受任者数 / 7人 [後見 3人 保佐 3人 未成年後見 1人]

活動回数 / 191回 [後見 66回 保佐 109回 未成年後見 16回]

活動時間 / 237時間55分 [後見 85時間45分 保佐 132時間40分 未成年後見 19時間30分]

②保管物品 10点

キャッシュカード4枚 国民年金・厚生年金保険年金証書2枚 年金手帳1冊

不動産権利証書(登記済権利証)1枚 マイナンバー通知カード1枚 マイナンバーカード1枚

保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

③後見等事務報告書の提出 10人の事務報告書を家庭裁判所飯塚支部に提出した。

④報酬付与の申し立て 8人の報酬付与の申し立てを行った。

⑤定期監査の実施

開催年月日	監査委員	場 所	監査内容
令和4年6月22日(水)	2人	山田ふれあいハウス会議室	法人後見人等として受任している10人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和4年3月1日～令和4年5月31日)
令和4年9月29日(木)	2人	山田ふれあいハウス会議室	法人後見人等として受任している9人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和4年6月1日～令和4年8月31日)
令和4年12月23日(金)	1人	山田ふれあいハウス会議室	法人後見人等として受任している9人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和4年9月1日～令和4年11月30日)
令和5年3月28日(火)	2人	山田ふれあいハウス会議室	法人後見人等として受任している9人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和4年12月1日～令和5年2月28日)

(7) 成年後見制度の啓発

①相談及び利用支援

- ・新たに特別養護老人ホームに入所する方の成年後見人を受任した。
- ・任意後見契約に関する相談があった。
- ・介護支援専門員から、成年後見制度の申立について相談を受けた。

②出前講座の開催

- ・サルビア大学にて、出前講座「Aさんの事例を通して考える終活について」を行った。

(8) 任意後見契約及びそれを補完する継続的見守り委任契約や死後事務委任契約に基づく事業の立ち上げに向けた調査

- ・調査対象者 55人(日常生活自立支援事業利用者44人 地域福利権利擁護事業利用者11人)
- ・調査期間 令和5年1月27日から1月31日
- ・調査方法 専門員に担当している利用者について聞き取った。
- ・調査結果

	項目	人	%
家族・相続人	日ごろから交流している家族がいる	27	49
	日ごろから交流している家族がいない	16	29
	相続人がいる	49	89
	相続人はいるが関係が切れている	13	23.6
	相続人がいない・わからない	6	10.9
不動産	土地や家屋を持っている	17	30.9
	持っている不動産を登記している	5	9
	不動産を持っていない	27	49
	不動産を登記していない	13	23.6
入院	保証人や緊急連絡先になってくれる人がいる	40	72.7
	保証人や緊急連絡先になってくれる人がいない	15	27.2
死後	死後の手続きをしてくれる相続人がいる	37	67.2
	相続人にあたらないが、死後の手続きをしてくれる人がいる	4	7.2
	死後の手続きをしてくれる人がいない	14	25.4

地域福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

【かま自立相談支援センター】 事業報告

1. 総括

今年度、かま自立相談支援センター（以下「センター」という。）で受けた相談は2,295件（前年比1,313件減）でした。この内94件（前年比52件減）が生活困窮にかかわる新規相談で、年間をとおして1,085回の相談対応とアプローチをしています。新規相談94件の内、33件（35.1%）が絶対的貧困状態（住むところ・食べるものなど生きていくために必要なものが得られない状態）で相談につながり、残り61件（64.9%）が相対的貧困状態（経済的困窮などにより、一般の人が実現できる様々なことができない状態）にありました。そのときの困窮状態の詳細をみると、ほぼすべての方が複数（167件）の困りごとを抱えていて、平均すると1.8件となりました。最も多かったのが「収入・生活費」60件（35.9%）で、「食べるものがない」21件（12.6%）、「仕事探し」20件（12%）、「病気や障がい」13件（7.8%）、「債務」13件（7.8%）、「住まい」10件（6%）、「税金や公共料金」6件（3.6%）と続いています。

その中で、今年度出会った二つのケースは、住むところも食べるものもお金もあるにも関わらず、室内が足の踏み場もない程のゴミ屋敷状態で、一つのケースはさらに水道やガスも使えず、普通の生活ができる状態とは程遠いものでした。どちらのケースも自らSOSを発信できず、他機関を介してセンターにつながったもので、あらためて地域の中には困窮状態でありながら全く相談機関とつながらず生活している方がおられること、また、病気などの緊急事態が起こらなければつながらなかった現実を振り返ると、日頃から近隣住民同士がつながり、気にかけて合える地域を作っていくことの必要性を再確認しました。

この二つのケースは共に地域で孤立し、ゴミ屋敷状態の中で生活しているという課題を抱えていたため、かま福祉ネットワーク委員会に加入する施設職員等の協力を得て、解決できました。その後、一つのケースは、支援機関及びセンターが定期的に関わるようになり、もう一つのケースは借家を退居し、軽費老人ホームに入所することとなりました。この二つのケースを通して、多機関・多職種連携の必要性と解決をあきらめないこと、相談を断らないことの大切さを再確認しました。

自立支援プランを協議する支援調整会議は12回開催し、家計改善支援プランも含めて延べ43件について協議し、コアメンバー（生活支援課、ハローワーク、センター）とプラン内容に応じて加わってもらった機関を含めて、延べ118人が出席しています。自立支援プランの協議においては、問題の複雑さを物語るように、はじめて協議に加わってもらった機関も増えています。

就労支援員による支援については、ハローワークの求人情報のほか、フリーペーパーなどの情報を延べ101回提供し、9人が一般就労につながりました。新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、また物価高騰も続く中、失業や非正規雇用、低収入の世帯が増え、働ける世代においても生活保護受給者が増加しました。また、就労の相談に来られた方の中には、コロナ禍以前から困窮の状態が続いていたり、複合的な課題（家計や債務問題など）を抱えているケースも多くありました。就労支援と同時に家計改善支援事業や、関係機関と連携した支援の必要性を強く感じました。

家計改善支援事業については、8件（前年比3件減）の相談がありました。その時の困りごとは延べ21件で、詳細をみると「収入や生活費」8件、「債務の返済」8件、「税金や公共料金の支払い」2件、「家賃やローンの支払い」2件、「子どもの学費」1件であり、継続の方も含めた家計改善支援の延べ回数は223回（前年113件減）となりました。プランを作成した方のうち、今年度も1名が本会の地域福祉権利擁護事業を利用して金銭管理をするようになり、この事業の介在が本人の生活の立て直しにつながっていると思います。継続相談では、弁護士から時効の可能性があるという助言を受けたため、2件時効の援用通知を送付し、1件の時効が完成しています。そのほか、債務の督促通知が届いており、返済の見通しが立たないため債務整理を促している世帯があります。今後の生活には債務整理が最善だと考えますが本人は望んでおらず、本人の気持ちに寄りそうことの難しさを感じています。

また、家計の見直しや債務返済など、くらしとお金の研修会を開催し、お金の使い方（家計管理）や各種カードの機能及び留意点、多重債務に陥らない生活および陥った場合の手立てなどを学び、参加者からは「貸付自粛依頼制度」を初めて知った、自身の家計を振り返る機会となったとの声が聞かれ、家計管理や多重債務についての見識を深めることができたと同時に、相談者自身が家計管理の重要性を認識することが大事だと改めて感じました。

生活福祉資金貸付事業の特例貸付については、延べ相談件数が289件で、その内申し込みに至った実人数は67人、貸付けに至ったのは66人で、総額は25,875,000円となりました。貸付の内訳は、緊急小口資金が41件、7,570,000円、総合支援資金が43件、18,105,000円となりました。さらに詳細をみると、特例貸付を利用した方々の年齢は20歳代から70歳代以上と幅広く、世帯分類は一般世帯が最も多く、職業分類は、無職、自営業、建設関係の順となりました。また、借入を希望した理由は勤務・収入の減少が最も多く、コロナ罹患、初任給・雇用保険までのつなぎと続きました。本会では特例貸付を受けた本市在住の借受者を対象に、借受後の家計を含めた生活状況についてのアンケート調査を実施しました。その調査から見えてきたのは、貸付を利用して急場を凌いだものの、その後の生活状況は改善せず、不安を抱えている方が多数おられるということでした。今後は支援を希望する方だけではなく、支援を希望しないと回答した方も含めて再度生活状況を聞き取り、支援が必要な方については、多機関・多職種連携による支援を行なっていきたいと思っています。

通常の貸付については、延べ相談件数が579件（前年比73件増）で、内訳は新規相談が85件（前年比15件増）、継続相談が494件（前年比58件増）となりました。貸付に至ったのは20件（前年比1件減）、貸付総額は8,830,000円（前年比5,563,000円減）となりました。貸付けた資金の内訳は、教育支援資金12件、福祉資金8件となりました。

フードバンク事業については、生活福祉資金特例貸付が令和4年9月で終了し、令和5年1月より償還が始まりました。それまでギリギリの生活をしてきた方や、少しの変化ですぐさま困窮状態に陥った方が増え、生活保護へのつなぎとして提供した割合が全体の6割を超えました。食材を必要とした方が35人（前年比14人増）と増加し、食品及び物品の協力は延べ35件（前年比11件増）となりました。食品等については、引き続き障がい者支援施設清浄学園、軽費老人ホーム稲穂園から在庫状況に応じて提供があったことで、食品が不足することはありませんでした。

無料職業紹介事業については、コロナ禍の影響で就労支援を必要とする方が増え、常用求人登録は延べ39件（前年比7件増）、求人登録企業は8社となりました。求人登録に至った方は2人で、その内1人に紹介状を発行し採用されました。無料職業紹介事業は職業紹介だけでなく、職業開拓ができる場所が強みですが、求人登録企業が少なく、福祉職に偏っています。就労支援を必要とする人の希望や職業スキルに応じた開拓をし、幅広い企業に登録してもらえよう努めたいと考えています。

2. 事業実績

(1) 相談受け付け等に関すること

相談件数 2,295 件 (来所 368 件 訪問 270 件 電話 983 件 転送電話 18 件 同行 70 件 関係機関から 543 件 メール 43 件)

①初回相談

件数 94 件 (来所 22 件 電話 50 件 関係機関等から 20 件 メール 2 件)

②年 齢

人数 94 人 (10 歳～19 歳 2 人 20 歳～29 歳 11 人 30 歳～39 歳 12 人 40 歳～49 歳 16 人 50 歳～59 歳 19 人 60 歳～69 歳 20 人 70 歳～79 歳 5 人 80 歳～89 歳 2 人 不明 7 人)

③性 別

人数 94 人 (男性 45 人 女性 48 人 不明 1 人)

④相談内容 (複数)

相談内容延べ件数 167 件 (収入や生活費 60 件 食べるものがない 21 件 仕事探しや就職 20 件 病気や健康・障がい 13 件 債務 13 件 住まい 10 件 税金や公共料金 6 件 家賃やローン 5 件 家族関係 3 件 仕事上のトラブル 2 件 ひきこもり 1 件 介護 1 件 不登校 1 件 DV や虐待 1 件 地域関係 1 件 その他 9 件)

⑤クリーニング結果

スクリーニング件数 94 件

(他の制度や専門機関につなぐ 28 件 引き続き支援を継続する 22 件 情報提供や相談のみで終了 36 件 プランを策定し継続支援する 6 件 スクリーニング判断前に中断 2 件)

※他の制度や専門機関につないだ内訳 (詳細内訳 複数)

件数 30 件 本会事業 21 件 (内訳: フードバンク事業 17 件、生活福祉資金貸付事業 2 件、生活福祉資金特例貸付事業 1 件、ひきこもり相談支援センター 1 件)、行政 7 件 (内訳: 生活支援課 6 件、高齢者介護課 1 件)、計画相談支援 2 件

⑥自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 1,085 回 (来所 140 回 訪問 145 回 電話 456 回 転送電話 16 回 同行 35 回 関係機関から 264 回 メール 29 回)

⑦支援プランの策定状況

自立支援プラン策定件数 27 件 (新規プラン 8 件 再プラン 10 件 終了 9 件)

家計改善支援プラン策定件数 16 件 (新規プラン 5 件 再プラン 5 件 終了 6 件)

⑧ホームページやブログを活用した情報発信

- ・新型コロナウイルス特例貸付償還免除の案内について
- ・住居確保給付金の案内について
- ・家計の見直しや債務返済など、くらしとお金について学ぶ研修会開催について
- ・やり方次第でお金は残せることを再確認について
- ・新型コロナウイルス特例貸付の終了について
- ・法テラスの靈感商法等対応ダイヤルの案内について

(2) 支援調整会議に関すること

①支援調整会議の開催

回	開催年月日・時間・場所	出席者	協議内容	出席機関・団体
1	令和4年4月25日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立新規プラン案の検討(1件) ・自立再プラン案の検討(4件) ・家計新規プラン案の検討(1件) ・家計再プラン案の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター
2	令和4年5月27日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立再プラン案の検討(1件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク 心結相談支援サービス かま自立相談支援センター
3	令和4年6月30日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立新規プラン案の検討(1件) ・自立再プラン案の検討(1件) ・家計新規プラン案の検討(1件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター
4	令和4年7月27日(水) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立新規プラン案の検討(1件) ・自立再プラン案の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 嘉麻市健康課 嘉麻市高齢者介護課 障がい者基幹相談支援センター かま自立相談支援センター
5	令和4年8月29日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・家計新規プラン案の検討(1件) ・家計継続プラン案の検討(1件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター

6	令和4年9月27日(火) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン案の検討(1件) ・家計再プラン案の検討(1件)	生活支援課及び福祉事務所長 かま自立相談支援センター
7	令和4年10月24日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	11人	・自立再プラン案の検討(3件) ・家計再プラン案の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク 嘉麻市健康課 かま自立相談支援センター
8	令和4年11月25日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立新規プラン案の検討(2件)	生活支援課 ハローワーク かま自立相談支援センター
9	令和4年12月27日(火) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立新規プラン(案)の検討(1件) ・自立再プラン(案)の検討(1件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	生活支援課 ハローワーク 嘉麻市高齢者介護課 かま自立相談支援センター
10	令和5年1月30日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	11人	・自立新規プラン(案)の検討(2件) ・自立再プラン(案)の検討(2件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 嘉麻市健康課 障がい者基幹相談支援センター かま自立相談支援センター
11	令和5年2月21日(火) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立再プラン(案)の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター
12	令和5年3月30日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	12人	・自立再プラン(案)の検討(2件) ・家計再プラン(案)の検討(2件)	生活支援課及び福祉事務所長 嘉麻市高齢者介護課 軽費老人ホーム稲穂園 かま自立相談支援センター

(3) 就労支援に関すること

① 支援状況

・情報提供 101 回 一般就労につながった件数 9 件

【一般就労先】 ハヤト運輸 ベストライフ(株)東ヶ丘ディサービスセンター ビル管理 (株) ショウエイ
社会福祉法人嘉穂福祉会障害者支援施設三愛園 セブンイレブン (派) キャスティングロードコールセンター
社会福祉法人筑前福祉会白藤の苑 いずみ観光株式会社

(4) 家計改善支援事業に関すること

① 初回相談

件数 8 件 (来所 5 件 訪問 3 件)

② 年 齢

人数 8 人 (20 歳～29 歳 2 人 40 歳～49 歳 1 人 60 歳～69 歳 2 人 70 歳～79 歳 2 人 80 歳～89 歳 1 人)

③ 性 別

人数 8 人 (男性 4 人 女性 4 人)

④ 相談内容 (複数)

相談内容延べ件数 21 件 (収入や生活費 8 件 債務 8 件 税金や公共料金 2 件 家賃やローン 2 件 子どもの学費 1 件)

⑤ スクリーニング結果

スクリーニング件数 8 件 (相談のみで終了 2 件 他の制度や専門機関につなぐ 1 件 プランを策定し継続支援する 5 件)

⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 223 回 (来所 16 回 訪問 45 回 電話 60 回 同行 25 回 関係機関から 65 回 メール 12 回)

⑦ 家計の見直しや債務返済などくらしとお金の研修会の開催

回	開催年月日・時間・場所	参加者	内容
1	令和4年9月10日(土) 午後1時00分～ 夢サイトかほ 大研修室	6人	テーマ 「お金の使い方と多重債務について」 講師：財務省 福岡財務支局 八崎 美姫さん ・お金の悩みに関する個別相談

(5) 住居確保給付金の窓口業務に関すること

①相談状況

- ・相談件数 17 件 (新規相談 4 件 継続相談 13 件)
- ・相談の形態 17 件 (来所 4 件 電話 9 件 関係機関から 4 件)

②申請件数・申請件数 1 件

(6) 生活福祉貸付事業に関すること

ア. 特別貸付

①基本事項

- ・相談件数 289 件 (新規相談 48 件 継続相談 241 件)
- ・貸付実人数 67 人 (稲築西 14 人 稲築東 13 人 山田 14 人 碓井 18 人 嘉穂 8 人)
(その内、不承認 1 人 (緊急小口資金))
- ・相談対応 289 回 (来所 97 回 訪問 2 回 電話 174 回 関係機関から 15 回 転送電話 1 回)

・貸付状況

資金種類	延べ件数 (件)	貸付総額 (円)
緊急小口資金	41	7,870,000
総合支援資金	43	18,105,000
合計	84	25,675,000

・貸付の形態

形態区分	延べ件数 (件)	貸付総額 (円)
緊急小口資金 1 回のみ	25	4,270,000
緊急小口資金 2 回目のみ	2	300,000
緊急小口資金 1 回目 + 総合支援資金 (初回) のみ	15	10,695,000
総合支援資金 (初回) のみ	24	10,410,000
合計	66	25,675,000

※延べ件数は、不承認 1 件を除いているため 66 件となっている。

②詳細事項

性別		年齢区分								世帯分類				
男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	一般世帯	単身世帯	高齢夫婦	母子世帯	父子世帯
38	29	11	15	22	11	5	3	0	0	26	21	1	15	4
職業分類														
建設関係	無職	飲食業	製造・工場	販売業	運送業	事務	医療・福祉	遊行業	工業・林業	自営	整備	保険関係	派遣	その他
8	12	3	4	3	2	2	6	1	8	9	1	1	3	4

借入を希望した理由 (困窮状態)	件数
勤務・収入が減少した	24
就職活動中	5
解雇・退職	3
家族の減収	4
初任給・雇用保険までのつなぎ	7
家族のコロナ罹患	5
コロナ罹患	17
子どもの休園・休校	2
合計	67

③生活福祉資金特例貸付 資金借受後の家計を含めた生活状況調査の実施

(1) 第一次調査

令和2年3月23日から令和4年6月30日までの間で、特例貸付の決定を受けた借受者で、かつ、現在も本市在住の方（但し、債務整理などの手続を進めている方は除く）

地区	対象者(人)
稲築	224
碓井	74
山田	105
嘉穂	62
合計	465

・調査方法

郵送調査

・調査期間

令和4年8月1日(月)～令和4年9月30日(金)

・調査票の回収状況①

	調査対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
全体	465	106	22.8
稲築		33	7.1
碓井		7	1.5
山田		25	5.4
嘉穂		16	3.4
無記名		25	5.4

・調査票の回収状況②

	調査対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	支援希望の有無	
				希望あり(人)	希望なし(人)
稲築	224	33	14.7	27	6
碓井	74	7	9.5	6	1
山田	105	25	23.8	17	8
嘉穂	62	16	25.8	14	2
無記名		25	26.2		25
合計	465	106		64	42

(2) 第二次調査

令和4年7月1日から令和4年9月30日までの間で、特例貸付の決定を受けた借受者で、かつ、現在も本市在住の方（但し、債務整理などの手続を進めている方は除く）

地区	対象者(人)
稲築	11
碓井	2
山田	1
嘉穂	3
合計	17

・調査方法

郵送調査

・調査期間

令和4年11月24日(木)～令和4年12月23日(金)

・調査票の回収状況①

	調査対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
全体	17	5	29.4
稲築		1	5.9
碓井		0	0
山田		1	5.9
嘉穂		2	11.7
無記名		1	5.9

・調査票の回収状況②

	調査対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	支援希望の有無	
				希望あり(人)	希望なし(人)
稲 築	11	1	9.1	0	1
確 井	2	0	0	0	0
山 田	1	1	100.0	1	0
嘉 徳	3	2	66.7	1	1
無記名		1	0		1
合 計	17	5		2	3

イ. 通常貸付

①基本事項

- ・相談件数 579 件 (新規相談 85 件 継続相談 494 件) ・貸付件数 20 件 貸付総額 8,830,000 円
- ・相談の形態 579 件 (来所 84 件 訪問 75 件 電話 234 件 転送電話 1 件 同行 10 件 関係機関から 175 件)
- ・貸付資金種類 (詳細内訳)

資金種別	区分	貸付の詳細	貸付件数	貸付合計額
福祉資金	福祉費	被保護者の生活必需品の購入 (エアコン)	5 件	452,000 円
		被保護者の生活必需品の購入 (洗濯機)	1 件	39,000 円
		葬祭に必要な経費	2 件	455,000 円
小 計			8 件	946,000 円
教育支援資金	教育支援費	大学 1 件	1 件	264,000 円
	教育支援費+就学支度費	専門学校 2 件 大学 5 件 短大 1 件 高校 3 件	11 件	7,620,000 円
小 計			12 件	7,884,000 円
合 計			20 件	8,830,000 円

②滞納世帯への働きかけ

- ・滞納状態にある借受人及び連帯借受人に対し、センターの存在を知らせて相談につなげるため、5月、8月、11月、2月に償還金の払込票とともにセンターの案内チラシを郵送した。

③生活福祉資金貸付制度に関する研修会の開催

回	開催年月日・時間・場所	参加者	内容
1	令和 5 年 3 月 22 日 (水) 午後 1 時 30 分～ 山田生涯学習館 視聴覚室	25 人	研修 1 「生活福祉資金貸付制度について」 講師：福岡県社会福祉協議会 生活支援部部长 大鶴 啓行さん 研修 2 「生活福祉資金特例貸付から見てきたこと」 嘉麻市社会福祉協議会 総合相談・地域づくり推進係 係長 小川 史佳

(7) フードバンク事業に関すること

①食材を必要とした方々の生活状況

提供年月日	受取者	困窮状態等の概要	提供した食品・物品の内訳
令和 4 年 4 月 1 日 (金)	女性	令和 3 年 9 月までで清掃員をしていたが、膝の手術をきっかけに退職。令和 3 年 10 月～12 月まで入院していた。本人の年金 (177,992 円/2 ヶ月) が 2 月に振り込まれたが、入院時に滞納していた光熱水費の支払いをしたことで、3 月 23 日の面談で手元に 3,000 円しか残っていないことが判明し、食材を提供した。本人の就労意欲が高いことから、今後就労支援員と面談し就労できるよう支援する予定。	白米 2kg カップ麺 10 個 レトルト食品 1 袋 ふりかけ 1 袋 汁物 3 袋 グラニュー糖 1 袋
令和 4 年 4 月 7 日 (木)	男性	令和 2 年 7 月から令和 3 年 9 月まで地権を利用。仕事を断られ現在無職。所持金が 900 円となり、4 月 5 日生活保護を申請した。4 月 15 日の年金まで食べるものがない。地権解約後、当月と滞納分の家賃未納、携帯は止まっており、ガスは解約している状況。再度の金銭管理を提案したが、必要ないとのこと。保護が決定すれば課か生活支援課にも働きかけてもらう予定としている。	カップ麺 6 個 レトルト食品 3 箱 缶詰 2 缶 汁物 1 袋 ガスボンベ 1 本
令和 4 年 4 月 8 日 (金)	女性 ①	母子世帯。令和 2 年 8 月に生活保護につなげ支援は終了したが、生活支援課から相談あり。4 月 7 日に口座が差し押さえられ現金もほとんどなく、4 月 28 日の保護支給日まで生活できないとのこと。食材提供するとともに、弁護士への相談や金銭管理の必要性について本人に話した。	白米 5kg カップ麺 13 個 袋麺 1 袋 レトルト食品 7 箱 ふりかけ 3 袋 焼き鮭 2 瓶 缶詰 11 缶 汁物 36 食入り 1 袋 わかめスープ 8 食入り 2 袋 中華丼 3 食入り 1 袋 親子丼 3 食入り 1 袋 のり 1 個 カレー 4 食入り 1 袋
令和 4 年 4 月 14 日 (木)	男性	父子世帯。母親は 13 年前に亡くなっている。令和 3 年 11 月に父が脳梗塞で倒れ、入院中。兄弟は兄がいるが、結婚しており、別も場所に家を建てて生活している。本人は精神疾患を患っており、生	カップ麺 4 個 ふりかけ 1 袋 缶詰 2 缶 スープ 2 袋 スープ 1 箱

		活費を持つと使ってしまうため、普段は父から週1回生活費をもらっているが、父親が入院中のため、現在は兄嫁を通して受け取っている。次回は16日に生活費をもらうが、相談時の所持金がほとんどなく、食べるものがないので、16日までの食材を提供した。	
令和4年4月18日(月)	女性 ①	二人娘(中3、小6)と3人暮らし、母子世帯。特例貸付希望のため来所するも、すでに借入済み。(緊急10万×2回、総合10万×3回)であることがわかった。4/20初任給3~4万円、5/10児童扶養手当2ヶ月分10万円が入金されるため、支払い優先順位を決め住宅課に分納相談することで、何とか凌げる見通しがたったが、手元にお金がないことから、食材や生理用品を提供した。	白米5kg カップ麺5個 レトルト食品5箱 缶詰6缶 汁物3袋 ふりかけ1袋 ナプキン2袋 トイレトペーパー1袋
令和4年4月21日(木)	女性 ②	4/8に提供した食材が足りなかったため、再度提供。楽天の通帳は差し押さえられていなかったようで、児童扶養手当の入金先は間に合ったとのこと。	白米5kg カップ麺10個 ふりかけ1袋 缶詰9缶 味噌汁10食入り1袋 スープ1箱 のり1個
令和4年5月10日(火)	男性 ①	3月31日フードバンクを提供したが、仕事が決まらず不安定な精神状態が続いている。5月10日に生活保護を申請したが、手持ちのお金もなく、10日間ほとんど食べていないため、決定までの2週間分を提供した。	白米5kg カップ麺5個 レトルト4箱 ふりかけ2袋 缶詰7缶 汁物4袋 味噌汁12 食入り2袋、8食入り1袋 ポタージュ1箱 お茶漬け2個
令和4年5月18日(水)	女性	離婚し、4人(妊娠中含む)の子どもを一人で育てることとなった。今後の生活費について不安とのことで、センターに連絡があったが、貸付対象外であるため、生活保護を提案した。本日、保護申請済。保護決定日までの食材がないとのことだったため、フードバンクから2週間分の食材とおむつを提供した。	白米5kg カップ麺11個 袋麺1袋 汁物 1袋 めんつゆ1本 のり1パック スティ ックシュガー1袋 おむつL1袋 おむつピッ ク1袋 おしりふき1袋
令和4年5月19日(木)	女性	高校生の長男と2人暮らし。2年前に右目(網膜剥離)の手術をした。術後は良好だったが、最近になって、目が見えづらく仕事に影響が出始めたことで、4月末に退職した。貯蓄も底をつき、5月19日に生活保護を申請したため、保護決定までの間の食材を提供した。	白米5kg カップ麺14個 レトルト2箱 ふりかけ1袋 お茶漬け1袋 缶詰10缶 汁物 10食入り1袋 ポタージュ2箱 親子丼3食 入り1袋カレー4食入り1袋
令和4年6月7日(火)	男性	2年ほど前から飲食店を営んでいたが、コロナの影響を受け経営が厳しくなり閉店。6月15日から夫婦で仕事が決まっているが、初任給までの収入が全くなく、貯金もない。初任給までの生活は特例貸付で凌ぐこととした。また、食材も厳しいとのことだったため、貸付決定までの約10日分を提供した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰5缶 汁物18袋 缶パン 18缶 そうめん1箱 めんつゆ1本 牛丼3 食入り1袋 カレー4食入り1袋
令和4年7月5日(火)	女性	離婚し、5歳の息子と2人暮らし。うつ病の診断を受け病院に受診中。症状が落ち着いたら、働くことを強く希望されている。7月1日に生活保護を申請したが、保護決定まで食材がないとのことだったため、10日分の食材を提供した。	白米5kg レトルト食品8箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 汁物18袋 スープ詰合せ1箱 缶 パン9缶 お茶1袋 親子丼3食入り2袋 中 華丼4箱
令和4年7月12日(火)	女性	生活支援課からの紹介で来所。本日、保護を申請したが、決定までの食材がないとのことだった。1人暮らしで元々障害年金約50,000円/月で生活していたが、突発的な支出が続き、家計が回らなくなったことから保護申請に至ったとのこと。フードバンクから2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 袋麺1袋 レト ルト食品7箱 ふりかけ1袋 缶詰5缶 汁 物2袋 缶パン6缶 めんつゆ1本
令和4年8月2日(火)	女性	夫と子ども3人(5才、2才、1才)との5人暮らしで、7月24日に飯塚市より転入した。夫が4月に運送業から清掃業に転職。5月後半にうつ病を発症し、休職していたが7月末で退職した。本人は障害年金を受給中で収入がない間、年金と児童手当で凌いだが生活できずに7月28日に生活保護を申請。その際に相談員よりセンターを紹介されたとのこと。8月10日には結果が出るそうで、その間の食材等を提供した。	白米5kg カップ麺7個 レトルト食品10 箱 汁物6袋 ホットケーキミックス1箱 コーンフレーク1袋 缶パン6缶 トイレ トペーパー1袋 紙おむつM1袋、ピック1袋 おしりふき1袋
令和4年8月18日(木)	男性	令和4年4月から入寮し、企業実習をしていたが、5月に寮を抜け出し親元(福智町)に戻った。その後両親から虐待を受け、8月10日に家を出て、高校から関わりのあるキャンパスを頼って嘉麻市にきた。8月16日に生活保護を申請したが食べる物がないため、食材を提供した。また、生活福祉資金の利用を希望していたが、保護決定とどちらが早いかなという話になるため、まずは保護課に緊急での対応となるかを確認し、必要があれば、申請予定とした。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 汁物10食入り1袋 缶パン3缶 のり1個 中華丼3食入り1袋
令和4年8月23日(火)	女性	令和3年8月に夫のDVにより離婚し、同年11月の終わりに嘉麻市へ引っ越した。13才と5才の息子の3人暮らし。求職活動していたが、コロナ禍や次男の体調不良(喘息)や保育園の休園などで、厳しい状況が続き、8月22日に生活保護を申請。保護決定までの2週間分を提供した。	白米5kg カップ麺6個 レトルト食品14 箱 ふりかけ1袋 缶詰10缶 汁物8食入り 2箱 吸い物セット1箱 ホットケーキミ ックス1箱 牛丼3食入り1袋

令和4年9月1日(木)	男性 ①	令和3年12月に糸島から嘉麻市へ移住。現在、妻と2人暮らし。本人は建設業で妻は弁当屋でそれぞれ働いていたが、令和4年2月に1才になる息子を亡くしたことや、職場での人間関係などで働けなくなった。また、働こうとおもっているが、それまでのつなぎとして今日9月1日生活保護を申請。保護決定までの2週間分を提供した。	カップ麺4個 そうめん1袋 レトルト食品8箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 汁物36食入り1袋 カレー4食入り1袋 中華丼3食入り1袋 親子丼3食入り1袋 缶パン10缶 そば1箱 めんつゆ1本 洗濯洗剤1個 トイレトペーパー1袋
令和4年9月7日(水)	男性 ①	民生委員と来所。今年3月からコンクリート会社の運転手として働いていたが、体調を崩し7月に休職。8月末で退職した。現在も体調不良が続いているが受診できていない。貯蓄も底を尽き、昨日保護を申請した。本日調査を予定しているようで、保護決定までの食材を提供した。	カップ麺6個 レトルト食品2箱 ご飯パック9個 缶詰8缶 コーンスープ8食入り1袋 味のり1個 缶パン4缶 鮭フレーク2瓶 牛丼3食入り1袋 中華丼3食入り1袋 ウェットティッシュ2個
令和4年9月7日(水)	男性 ②	令和4年9月1日に提供した食材が足りなかったため、再度提供。近所にある工場で働こうと、今度面接を受ける予定とのこと。	カップ麺4個 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰8缶 コーンスープ8食入り1袋 焼きのり1缶 缶パン6缶 お茶漬1個 スポンジ2個 ウェットティッシュ2個
令和4年9月7日(水)	男性 ②	令和4年5月10日に生活保護申請時にフードバンク提供。その後、令和4年7月に生活保護廃止。筑豊若者サポートステーションへ通いながら仕事の面接を受けていたがうまくいかず、手持ちのお金も食べる物もない状態で9月7日生活保護を申請。保護決定までの2週間分を提供した。	白米5kg カップ麺4個 そうめん1袋 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰5缶 コーンスープ8食入り1袋 めんつゆ4袋 缶パン6缶 牛丼3食入り1袋
令和4年9月15日(木)	女性	夫と子ども3人の5人暮らし。夫婦それぞれ自営で夫は建設業、本人はブリーダーを営んでいるが、家のローンやカードローンの返済や仕事の経費のため、収入が食費にまわらなくなっている。保険の見直しやカードローン返済の減免相談を助言し、Wワークの情報提供をしていくこととした。急場をしのぐため、食材を提供した。	袋麺1袋 レトルト食品6箱 缶詰9缶 汁物44袋 鮭フレーク2瓶 缶パン6缶 そうめん1袋 めんつゆ1本 そば1箱 レトルト4食入り1袋 パスタソース3袋 レトルト3食分2袋
令和4年9月21日(水)	女性 ①	令和2年5月生活支援課からの相談で食材を提供。その後、夫の転職により保護廃止となっていた。夫の借金やギャンブル依存症などで家計が成り立たず、9月21日に離婚届を提出し、生活保護を申請した。決定10月5日までの2週間分の食材を提供した。	白米5kg そうめん1袋 レトルト食品15箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 汁物8袋 缶パン6缶 めんつゆ7袋 わかめ1袋 のり1個 お茶1袋 もち8個 粉ミルク1缶 洗剤1本 キッチンセット1箱 トイレトペーパー4個 ティッシュ5箱
令和4年9月23日(金)	男性 ②	自立センターの転送電話に連絡あり。9月7日に2週間分のフードバンクを提供したが、まだ保護の決定がおりていないと話され、9月30日に入るため、それまでの食材が欲しいとのことだった。約1週間分の食材を提供した。	カップ麺3個 袋麺5袋 缶詰3缶 汁物1袋 缶パン7缶 パックご飯1セット
令和4年9月30日(金)	女性 ②	令和4年9月21日生活保護申請、決定までの2週間分の食材を提供した。9月30日生活支援課より、保護決定が10月5日になるが、食材がなくなったため、提供してほしいとの依頼を受けた。5日分の食材を提供した。	レトルト食品12箱 そうめん1袋 めんつゆ1本 汁物2袋 わかめスープ8袋 味のり1個 牛丼3食入り1袋
令和4年10月17日(月)	女性 ②	中3と小6の子どもと3人世帯。4月から製造業で勤めているが、精神的なものと腰痛にて8月末から休みがちになった。職場に迷惑をかけるとの理由で、10月末退職が決まり本日付で生活保護を申請したとのこと。失業保険は期間が足りず、対象ではない。また、11日に入った児童手当はガス代や電気代、携帯代の支払いに充て、残金は数千円しかないため、2週間分の食材を提供した。	カップ麺8個 そうめん1袋 レトルト食品10袋 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁9袋 コーンスープ9袋 めんつゆ8袋 ご飯パック3個 鮭フレーク2瓶
令和4年10月19日(水)	女性	本日、生活保護申請。62才、一人暮らし。専門学校卒業後、一度も働くことなく母と生活していたが、10年前に他界。それからは、1番上の兄から月3万円の援助を受けていた。その兄が高齢で本人への援助が難しくなり、無収入になったことから、生活保護の申請に至った。保護が決まるまでの2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品13袋 ふりかけ1袋 缶詰18缶 わかめスープ8袋 たまごスープ5袋 カレー4食入り1袋
令和4年11月1日(火)	男性 ①	1年半前に母親を亡くし独居。うつ病のため障がい年金月45,000円と貯金を切り崩しながら生活してきた。昨年6月に退職して以降、気分のムラが大きく仕事ができるか不安があるとの事だったため、一旦、生活保護申請をすることにしたが、11月4日から自動車販売店で洗車の仕事が決まったとの連絡を受けた。トヨタの仕事を続けることができるかわからないため、まずは働く様子をみながら、今後の方向性を考えていくことで、本人の同意を得たが、食べるものがないとの事だったため、食材を提供した。	白米5kg カップ麺3個 袋麺1袋 レトルト食品8箱 ふりかけ1袋 缶詰8缶 味噌汁10袋 たまごスープ5袋 めんつゆ5袋 牛丼3食入り1袋 おかずのり2袋

令和4年11月11日(金)	男性 ①	年金と生活保護費で生活する1人暮らしの男性。今月は嘉麻市から商品券が発行されると思い、生活費を使ってしまったが、実際には12月からしか使えないことがわかった。食材もなく12/1まで生活できないとの事だったため、食材を提供した。今後は本人の希望により日常生活自立支援事業の再契約を予定している。	白米5kg カップ麺3個 袋麺1袋 レトルト食品5箱 ふりかけ1袋 缶詰10缶 味噌汁10袋 たまごスープ5袋 お茶漬4袋 おかずのり3袋 牛丼3食入1袋 カレー4食入1袋
令和4年11月18日	男性 ③	独居。統合失調症のため障がい年金を受けていたが、納得できず主治医に意見書を書いてもらい廃止となった。以降、生活保護を申請するも検診命令を拒否し勝手にやめたり、働いてもコミュニケーションが図れずトラブルになったりと生活が安定せず生活保護申請に至った。今までも状況が変わる度に3回フードバンクを提供しているが、今回は生活支援課からの依頼であることと見通しが立つまで勝手に保護受給をやめないこと、生活支援課から説明される必要な手続きや受信はきちんと行うことを条件に提供することにした。なお、最後の提供であることも伝えた。	白米5kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 汁物1袋 パスタソース1袋
令和4年11月22日(火)	男性 ②	11月8日に月末までの食材を届けたが、足りないとの連絡があり、追加して届けた。	白米5kg カップ麺3個 袋麺1袋 缶詰9缶 汁物10袋 レトルト食品4箱
令和4年11月22日(火)	男性	11月21日に生活保護を申請し、22日に調査を受けた。3年前から遺品整理の仕事をしているが、仕事がめったに入らず、収入は5千円から1万5千円だった。足りない分は母の弟の嫁からの援助を受けていたが、今後の支援が難しく保護申請に至った。12月5日には結果が出るため、その間の食材を提供した。	カップ麺1個 レトルト食品7箱 ふりかけ1袋 缶詰5缶 汁物10袋 ご飯パック20個もち5個
令和4年12月16日(金)	男性 ①	12月末で建設会社を退職することになっているが、既に出勤しておらず、12月10日に給料12万円が入金。妻は11月から保険会社に入社し現在は研修中。12月2日に5万円入金されたが、互いの給料は支払いに充てたため、食材を提供した。12月23日に妻の給料10万円が入るが、負債や未払い等も多く、センターにてプランを立てて支援することにした。	白米5kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品8箱 ふりかけ2袋 缶詰2缶 汁物2袋 のり1袋 紙パンツL1袋 おしりふき1袋
令和4年12月19日(月)	男性	10/14 退職し寮を出なければならず、宮若市から実家に帰ってきた。実家には兄がいるため隣の古い家で生活しているが、屋根や壁があるのみで、お風呂はなつきの湯、洗濯はコインランドリーを利用している。現在は失業保険を受給できるようになったが、入金日の12/23まで食べるものがないとの事にて食材を提供した。自立支援金も受けている。1/4～職業訓練校に入校が決まっている。	カップ麺9個 缶詰め3缶
令和4年12月27日(火)	男性 ②	12/26に生活保護を申請したが、年末年始を挟むため、食材を届けて欲しいとの事にて提供した。	カップ麺6個 袋麺17袋 ふりかけ2袋 缶詰11缶 汁物24袋 お茶1袋 のり3袋
令和4年12月27日(火)	男性 ①	本日、生活保護申請。26才、1人暮らし。高校卒業後、建設会社に就職するも退職。その後は、求職活動をしながら、友人、知人の伝手を頼り収入を得ているが、数万円しかなく、友人に借金をしながら食事等の援助も受けていた。センターでも求職活動の手伝いのため、連絡していたが繋がらず、手持ちが数百円になったことで申請に至ったとのこと。生活支援課に確認したところ、令和5年1月6日に決定。10日に支給とのことだったため、その間の食材を提供した。	カップ麺8個 袋麺10袋 レトルト食品15袋 缶詰7缶 汁物8袋 トイレットペーパー4個 ティッシュペーパー1個 ウエットティッシュ2個
令和5年1月11日(水)	男性	1～2年ごとに相談あり。今回は夏にコロナワクチン5回目を接種し痙攣発作で入院したことで、秋に車に轢かれ一旦治療は終わったものの寒くなると痛みが増悪し、受診が増えたことでお金が無くなったとのこと。消費者金融は完済していたが、知人からの借金が10万円になり、電気も止まり食べるものもないとのことだった。生活費の見直し等提案するも同意が得られず、今回は食材のみを提供した。定期的に訪問し、生活状況を確認することにした。	白米3kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品12箱 ふりかけ2袋 缶詰8缶 汁物24袋 のり3袋 だし1箱 お茶1袋
令和5年1月24日(火)	男性	本日、生活保護申請。64才男性、1人暮らし。昨年10月までL場まで派遣労働をしていたが、膝の痛みから月に数回休むようになり退職。11月からは退職月の給与と四国に住む姪に送ってもらった10万円で過ごしたが、手持ちが64円となり申請に至った。生活支援課に確認したところ、決定までに2週間かかるとのことだったため、その間の食材を提供した。	白米2kg カップ麺6個 レトルト食品11袋 缶詰9缶 汁物8袋 吸物1袋 のり1袋
令和5年1月30日(月)	男性	1月17日に生活保護申請。44才、男性。大家さん宅の一室を間借りして生活している。結婚歴があるが、仕事に行っている間、妻が子どもを連れて荷物や本人の財産を持って消息を絶った。その後、遠い親戚に紹介してもらった建設会社で勤務していたが、気管支	カップ麺3個 レトルト食品6箱 汁物12袋 パックご飯6個 ティッシュ1箱

		喘息を患っており、仕事中に搬送されることが続いたため、退職を申し出たが、辞めることができなかった。現在、手持ちが700円ほどしかない、また、生活支援課の都合上、初回支給が2月1日になるとの事だったため、約3日分の食材を提供した。	
令和5年2月6日(月)	男性	本日、保護申請。49才男性、1人暮らし。3年前から昨年12月まで近くの土木会社でアルバイトをしていたが、気分が落ち込み休みがちになり退職。近くに兄が住んでいるが、昔から折り合いが悪く頼れず、土木会社の親方からお金を借りたりしながら過ごしたが、所持金が50円になり保護申請に至った。2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品22袋 ふりかけ1袋 缶詰11缶 梅干し2袋 スパゲティ1袋 スープ5食入1袋 トイレレットペーパー4個 ディッシュペーパー1箱
令和5年2月9日(木)	女性	生活保護受給中。2月15日の年金が入るまで、お米がないとの訴えがあり提供した。	白米2kg
令和5年2月17日(金)	男性	病院で働いているが、度重なる欠勤で2月末での解雇が決まり、2月15日に生活保護申請をした。2月25日に給与が支給されるが少額かつ市県民税の支払いに充てなければならないため、手元にお金が残らない状況。平日は勤務先で給料天引き(3月25日支給分)の弁当を購入できるが、祝祭日に食べるものがない。すでに手持ちのお金もないため、生活保護受給決定までの食材を提供した。	白米3kg カップ麺3個 レトルト食品7箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 汁物10袋 お茶1袋 梅干し2袋 のり1袋
令和5年2月24日(金)	女性	令和5年1月に入籍し姫路で生活していたが、夫の暴力を受けたため、嘉麻市の実家に身を寄せていた。生活保護の申請に行ったが、離婚が成立していないため、申請できなかった。今月、離婚届を送り返したため、2月27日には転居の書類が届き、すぐに生活保護の申請をするとのこと。所持金が500円しかなく、食べる物がないとのことだったため、食材を提供した。実家の母親も生活保護を受けており、面倒はみきれないと言われている。	白米5kg カップ麺2個 袋麺5袋 レトルト食品10袋 ふりかけ1袋 缶詰9缶 スープ12袋 スパゲティ1袋 パスタソース4袋 のり2袋 生理用品2袋
令和5年3月14日(火)	男性①	63才、母親と2人暮らし。嘉麻市役所から資金の貸付があると聞いて来所される。自身と母の年金で生活しているが、光熱費の高騰や母親の受診等で支払いがかさみ生活費がなくなったとのこと。10年以上無職であり、就労支援の提案をするも車を持っていないことなどを理由に拒否された。貸付の条件に合わず負担になるため、生活保護を提案する。本日保護申請を行ったが、保護決定までの間、食料がないため、2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺16個 レトルト食品6箱 ふりかけ4袋 缶詰6缶 汁物1袋 のりの佃煮1箱
令和5年3月15日(水)	女性②	センターでプランを立てて支援中。現在妊娠3か月で、今年の10月に第三子を出産予定。体調が優れず仕事を休んでいる。また、夫も腰痛がひどく働けない。夫婦ともに就職、転職を目指していたが、上記理由にて働けず、本日生活保護を申請。決まるまでの2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺12個 袋麺1袋 レトルト食品12袋 ふりかけ1袋 缶詰9缶 汁物1袋 だし1箱 のり1パック めんつゆ1本 油1本 オムツ1袋 おしりふき1袋
令和5年3月23日(木)	男性②	生活保護申請中であり、3月14日に2週間分の食材を届けたが、足りないとの連絡があった。担当ケースワーカーに保護費支給日を確認すると29日から30日の予定だったため、8日分の食材を追加して提供した。	白米5kg カップ麺5個 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 汁物6袋 ハヤシソース4食入1袋 お茶1袋 牛丼3食入2袋
令和5年3月24日(金)	男性	独居。年金額80,000円程度で生活しているが、令和4年12月ごろから近所の男性がお金を仮に来るようになったため困っている。すでに15万円を超えており、4月の年金まで生活が回らず苦しいとの相談。一旦、食材を提供したが、関係者とは警察への被害届や知人宅への訪問等を検討している。	レトルト食品2箱 ふりかけ1袋 缶詰10缶 汁物16袋 ご飯パック18パック 牛丼3食入1袋 カレー4食入1袋
令和5年3月30日(木)	男性②	嘉麻市役所生活支援課のケースワーカーをとおして連絡あり。令和4年12月から生活保護を受給しているが、先週2〜30,000円の現金が入った財布を落とし、手持ちのお金がなくなった。(警察には紛失届を提出済)通帳のお金も引き出したあとだったため、食料等を買うことができなくなり、数日間食事をしておらず、本日療育手帳の再取得のための病院受診だったが、体調が悪くなり断念。4月3日には保護が支給されるため、それまでの食料を提供した。	カップ麺2個 レトルト食品10袋 缶詰6缶 汁物7袋 ご飯パック6パック カレー4食入1袋
令和5年3月31日(金)	男性	72才男性、独居。音響関係のレンタル業を行う傍ら、市からの要請でカラオケの講師を月4回ほどあかつきで行っていた。しかし、コロナが蔓延し、レンタルや講師依頼が減り、年金だけでは生活が苦しくなったため、3月31日に保護申請を行った。保護費が入るまでの間、食べる物がないとの事で、2週間分の食材を提供した。	カップ麺10個 レトルト食品14袋 缶詰6缶 汁物1袋 パスタ1袋 かに雑炊13個

②事業への協力状況

- ・食品及び物品の協力件数 35 件
【障がい者支援施設清浄学園 7 件 軽費老人ホーム稲穂園 2 件 かま男女共同参画推進ネットワーク 2 件 大塚内科クリニック 3 件 NOK エラストマー 1 件 市民 20 件】
- ・協力いただいた食品及び物品の内訳

【食品】 米 200 kg ご飯パック 50 個 おかゆ 100 袋 もち 18 個 カップ麺 203 個 即席汁物 546 袋 レトルト食品 346 食 麺類 26 袋 ふりかけ・のり 42 袋 お茶漬け 10 袋 缶詰 348 缶 佃煮・鮭など 3 個 梅干し 16 袋 調味料 3 点 めんつゆ 5 本、30 袋 お茶 6 袋 缶入パン 77 缶 ホットケーキミックス 2 箱 コーンフレーク 1 袋 のど飴 1 袋 粉ミルク 4 缶 ベビーフード 3 袋 【物品】 マスク 1 箱 紙おむつ 4 袋 お尻ふき 2 パック ウエットティッシュ 2 個

③食品及び物品の提供状況

- ・食品を必要とした方 35 人 ・食品を提供した延べ回数 47 回
- ・物品を必要とした方 12 人 ・物品を提供した延べ回数 14 回
- ・貸出しを必要とした方 0 人 ・物品を貸出した延べ回数 0 回
- ・提供した食品・物品及び貸出した物品の内訳

【提供食品】 米 133 kg ご飯パック・おこわ 59 個 おかゆ・雑炊 18 袋 袋麺 39 袋 そうめん・そば 3 袋 カップ麺 204 個 お茶 5 袋 即席汁物 586 袋 レトルト食品 443 食 缶詰 272 缶 のり・ふりかけ 50 袋 梅干し 4 袋 ふりかけ 50 袋 もち 18 個 めんつゆ 5 本、24 袋 鮭瓶・佃煮 7 個 お茶漬け 8 個 調味料 5 点 ホットケーキミックス 2 箱 コーンフレーク 1 袋 粉ミルク 1 缶 【提供物品】 幼児用紙パンツ 7 袋 お尻ふき 5 パック 生理用品 4 袋 トイレットペーパー 5 袋 カセットボンベ 1 本 洗剤類 2 本
--

④食品及び物品在庫一覧（令和 5 年 3 月 31 日現在）

【食品】 米 245kg かに雑炊 87 袋 カップめん 16 個 そうめん 1 袋 パスタ麺 1 袋 パスタソース 5 袋 レトルトカレー 3 箱 お子様カレー 15 箱 中華丼 2 箱 牛丼 3 食入 2 袋 親子丼 4 箱 みそ汁 6 袋 スープ各種 48 袋 缶詰 193 缶 鮭フレーク 2 個 お茶 1 袋 ふりかけ 9 袋 乾燥わかめ 1 袋 タバスコ 2 箱 食用油 2 本 粉ミルク 3 缶 ベビーフード 3 袋 のど飴 1 袋 【物品】 石鹸 27 個 スポンジ 54 個 クッキングペーパー 23 個 タオル 5 枚 お風呂洗剤 4 本 食器用洗剤 2 本 消臭スプレー 1 本 ハンドソープ 1 本 ボディソープ（詰め替え用）1 袋 ボディシャンプー 2 本 カセットボンベ 26 個 暖房器具 2 台 ポット 1 個 コーヒーメーカー 1 台 ワインセラー 1 台 食器乾燥機 1 台 フットブラシ 1 個 食器 48 個 急須 1 個 コップ 6 個 すり鉢 1 個 ボウル 3 個 タップ 8 個 栓抜き 1 個 包丁 1 本 子ども用紙おむつビックサイズ 6 袋 子ども用紙おむつLサイズ 2 袋 子ども用紙おむつMサイズ 3 袋 子ども用紙おむつS サイズ 4 袋 生理用品 15 袋 おしりふき 22 袋 箱ティッシュ 28 箱 トイレットペーパー 8 袋 ウエットティッシュ 27 個 やかん 1 個 スーツ上下セット 8 セット カッターシャツ 3 枚 衣類 3 着 掛け布団 1 枚 シーツ 1 枚 履歴書（パート・アルバイト）5 袋 履歴書（新卒・再就職）4 袋
--

(8) 無料職業紹介所（嘉麻市生活困窮者自立相談支援事業受託）に関すること

①求人登録状況

- ・常用求人登録件数 39 件
- ・求人登録企業 8 件及び業種区分
【企業名及び業種】
 - ・社会福祉法人 恵寿会グループホーム 恵寿（介護サービスの職業）・障がい者支援施設さくら学園（飲食物調理の職業）
 - ・麻生介護サービス（株）（介護サービスの職業・看護師・サービス責任者・計画作成担当者・家事代行スタッフ）
 - ・ほっともっと山田店（飲食物調理の職業）・医療法人 新緑会 愛恵医院（介護サービスの職業・飲食物調理の職業）
 - ・特別養護老人ホーム第二稲穂園（飲食物調理の職業）・医療法人 仁正会 鎌田病院（准看護師・介護サービスの職業）
 - ・社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会（配食サービス配達員の職業）

②求職登録状況

- ・求職登録者 2 人

(9) 研修会等への参加

参加年月日	内容	会場	参加者
令和 4 年 8 月 2 日（火）	令和 4 年度厚生労働省委託事業 生活困窮者自立支援制度における 農業分野等との連携強化モデル事業説明会	ZOOM	大里 真弓
令和 4 年 11 月 15 日（火）	第 2 回ワークサポートネットワーク研修会 ～A 型事業所における就労支援の取り組みについて～	庄内交流センター	大里 真弓
令和 4 年 11 月 20 日（日）	生活困窮者自立支援全国研究交流会 ～自治体が進めるユニバーサル就労に学ぶ～	ZOOM	大里 真弓
令和 5 年 3 月 23 日（木）	オンライン・シンポジウム ～しごと・就労支援を切り口にした地域づくり～	ZOOM	大里 真弓

地域福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

【かまひきこもり相談支援センター】 事業報告

1. 総括

今年度、かまひきこもり相談支援センター（以下、「センター」という）で対応した相談件数は54件（前年度比59件減）でしたが、新たに8人のひきこもり当事者、家族と出会うことができました。ひきこもり当事者とつながることができても、本人に会うことが難しいことはもちろん、家族から「今はそっとしておいてほしい」と言われることもあり、訪問などの直接的なかかわりを持つまでに至らないケースも多くありました。また、LINEの公式アカウントを使った、SNS相談窓口を開設しましたが、市民に十分な啓発ができていなかったため、SNSを介した相談件数は0件でした。

相談を受けるなかで、家族からは「一日中家に子どもがいるので、気が休まらない」、「今は本人を刺激したくない」、「今までに何回も本人に働きかけたが、言い合いになり、話し合いができなかった」などの話があり、家族が疲弊している様子やSOSを出しづらいう状況にあることが分かりました。ひきこもり問題は、当事者や家族がどうにかしたいという思いと周りに知られたくないという思いの狭間で苦しみ、地域のなかで潜在化しているケースが多くあります。そのため、本人と話すことができるようになることはもとより、相談し、関係機関とつながるまでに多くの時間を要します。当事者や家族にとっては、相談することさえも気力や勇気のいることだということを理解し、その気持ちに寄り添いながら長く関わり続けることが必要だと感じています。

昨年12月に、はじめて、支援機関による意見交換会を開催し、これから支援機関が取り組まなければならない事例の明確化、ケースの状況と課題の共有、ひきこもり支援の必要性を確認することができました。ひきこもり支援は、一つの機関で担うことは難しく、様々な機関がそれぞれの強みを活かして、かかわることが必要であることを共有しました。これをきっかけに、ひきこもり支援の中核となるのは市の健康課であること、また、今後の意見交換会については健康課主催で企画内容についてはセンターもかかわりながら、3か月に1回開催することとなりました。この意見交換会以降、センターに支援機関から相談が入るようになり、担当者と一緒に訪問することができるようになりました。

フリースペースについては今年度も開設できませんでしたが、家族会は4回開催することができました。家族会では、当事者の家族でなければわからない悩みや思いを共有することができました。家族会に参加した家族からは、「ほかに話せる場がなく、苦しかった」、「話を聞いてもらえてスッキリした」などの声も聞かれました。今年度参加した研修会でも「ひきこもり問題は家庭内だけで解決できることではないので、第三者の介入、かかわりが必要不可欠です」との話がありました。フリースペースや家族会は、当事者や家族が自宅から離れ、家族以外とかがわれる場としての大きな役割があるため、今後も相談をつうじて啓発し、継続していきたいと思えます。

2. 事業実績

(1) 相談事業

ひきこもりに関する相談対応 相談者数：10名 / 相談対応件数：54件

<相談対応の詳細事項>

新規/継続	本人の年齢	相談対応
新規	10歳代	家族への支援：訪問3件
新規	20歳代	家族への支援：来所1件
新規	20歳代	家族への支援：来所1件
新規	40歳代	家族への支援：関係機関との連絡調整2件
新規	40歳代	家族への支援：電話1件
新規	60歳代	本人への支援：関係機関との連絡調整16件 / 家族への支援：6件 / 関係者会議：1回
新規	60歳代	本人への支援：訪問1件、関係機関との連絡調整1件
新規	40歳代	本人への支援：関係機関との連絡調整1件
継続	40歳代	本人への支援：訪問1回 / 家族への支援：関係機関との連絡調整：6件 / 関係者会議：1回
継続	50歳代	家族への支援：電話10回、関係機関との連絡調整2回

(2) 本人及び家族への支援事業

①フリースペースの開設：0回

②家族会定例会の開催：4回

開催月	開催日	会場	参加者	内容
令和4年11月	24日(木)、29日(火)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)	初回面談、近況報告など
令和4年12月	21日(水)	寄ってこハウス	2家族(ご夫婦)	近況報告など
令和5年1月	17日(火)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など

③ひきこもり支援者意見交換会の開催

日時	会場	内容	参加者
令和4年12月12日(月)	嘉麻市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・本センターでおこなった事前調査についての報告 ・意見交換 助言者：飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センターセンター長 藤嶋勇治さん)	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市役所（健康課、生活支援課、高齢者介護課、市民課、子育て支援課、社会福祉課、男女共同参画推進課） ・飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター ・福岡県ひきこもり地域支援センター筑豊サテライトオフィス ・福岡県精神保健福祉センター ・嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ・筑豊若者サポートステーション ・嘉麻市ケアマネ連絡協議会 計 13 団体 23 名

(3) 研修会への参加

日時	会場	内容	参加者
令和4年7月26日(火)	オンライン (ZOOM)	令和4年度ひきこもり支援者研修会 (1) 福岡県ひきこもり地域支援センターの取組について (2) 講演「ひきこもりの危機対応 ～暴力・自殺企図を伴う事例への対応を中心に～」	職員1名
令和4年11月16日(水) ～17日(木)	アクロス福岡	1日目 <ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー：ひきこもり支援の現在地 ～支援30年の歴史から本当に必要な支援について考える～ ・レクチャー：ひきこもり経験者による体験談 ・ワークショップ：ひきこもりの“ゴール”とは ・ワークショップ：ケーススタディ ～当事者の声にあなたならどう答えますか～ 2日目 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ：「この人なら」と思われる支援の姿勢とまなざし ・レクチャー：当事者理解を深めるために ・トークセッション：当事者理解トークセッション ・ワークショップ：語ろう、支援の悩み ・レクチャー：広報も「支援」～効果的な周知の仕方について～ 	職員1名
令和5年3月13日(月)	福岡県立大学	令和4年度不登校・ひきこもりサポート支援フォーラム 起立性調整障害の理解～映画『今日も明日も負け犬。』上映から考える～	職員1名

地域福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

【かまボランティア・市民活動センター】 事業報告

1. 総括

今年度、センターで受けた相談は118件(前年比66件増)でした。ボランティアの登録に関する相談では、福祉施設での活動だけではなく、パソコン関連の指導や麻雀をつうじての活動など新たな登録もありましたので、今後サロンや福祉施設等から依頼があればコーディネートしていきたいと思います。また、ボランティア募集に関する相談では、障がい者施設や市民から3件の依頼がありました。さらに、ボランティアコーディネートに関する相談は5件あり、マッチングを行ないました。

市民への学習機会の提供については、昨年度に行なった小修繕ボランティア養成講座の受講者からの、「講座のみでつながりが終わってしまうのはもったいない」との声をを受けて再度集まり、ごみ集積ボックスづくりで交流を深めました。その後開講した小修繕ボランティアフォローアップ講座には新たな受講者も加わり、楽しみながらミニテーブル作りに挑戦しました。かまボランティア・市民活動センター運営委員会については、選出分野を広げて改選を行ない、委員11人による新委員会が発足しました。運営委員会は2回開催し、講座等の企画内容、ボランティアや市民活動の視野を広げていくための方策などについて協議しました。

災害ボランティアセンター事業については、設置運営マニュアルの見直しを行なった他、梅雨末期の大雨などで災害が発生した際に、災害ボランティアセンターとなる予定の建物内外の清掃や、備蓄資材の整理及び在庫確認、補充を行ないました。令和4年9月3日(土)には、桂川町住民センターを会場に、県社協主催による災害ボランティアセンター設置運営訓練が行なわれ、水害を想定した訓練に嘉飯桂地区社協職員等44名が参加しました。また、10月13日(木)には、本会会議室において調印式を行ない、一般社団法人飯塚青年会議所と災害時における協力体制に関する協定を締結しました。

2. 事業実績

(1) ボランティア・市民活動センターの運営

①相談実績

相談件数118件 <分類>・ボランティア登録に関する相談8件 ・ボランティア募集に関する相談3件
 ・ボランティアコーディネートに関する相談5件 ・ボランティア保険に関する問い合わせ50件
 ・その他の相談52件

②登録実績

新規登録件数8件 <分類>・ボランティア団体2グループ ・個人ボランティア6人

③ボランティアの募集及びコーディネート

ボランティアの依頼先	依頼内容	コーディネート結果
山田学園	利用者の作業手伝い	広報紙でボランティア募集を行い、希望の問い合わせが1人あったため、合計3回マッチングを行なった。
さくら学園	年末の餅つきの手伝い	以前餅つきに参加されたボランティアに連絡を行い、マッチングを行なった。
個人宅	卓球の団体の紹介	以前から行なっていた卓球を続けたいため、活動している団体を紹介してほしいと依頼があったため、稲築のラージボール卓球クラブを紹介し、マッチングを行なった。

④広報紙「えがお」によるボランティア・市民活動情報の発信

広報紙「えがお」(第170号～第173号)の中に、かまボランティア・市民活動センター情報のページを設けて、シリーズでのボランティアグループ紹介コーナーやボランティアの募集、災害訓練に関する情報を発信した。また、広報紙については、市役所各庁舎や公共施設などに置いたほか、希望する行政区や福祉団体などに配布した。

⑤ホームページやSNSを活用した情報発信

ホームページを活用し、ボランティア登録団体等を紹介した他、SNSを活用し、ボランティアの募集や災害関連の情報を発信した。

	募集情報 (回)	災害関連 (回)	その他 (回)	合計
ブログ	1	4	1	6
Facebook	1	4	1	6
合計	2	8	2	12

⑥その他の取り組み

- ・修繕技術の向上とコミュニケーションを目的に、小修繕ボランティア養成講座の受講者が集まり、家庭用のごみ集積ボックス制作を行なった。
- ・稲築地区公民館で開催された生涯現役チャレンジセンター主催のシニアのためのしごと・ボランティア相談セミナーに参加し、当会ブースを訪問された方のうち3人が個人ボランティア登録した。

⑦小修繕ボランティアフォローアップ講座の開講

回	開催年月日	参加者	内容
1	令和4年11月30日(水)	7人	「工具の種類と使い方、手入れの仕方について」 講師：筑豊ホーム 代表 宮地 裕次さん、高倉 高徳さん
2	令和4年12月5日(月)	7人	「戸車のしくみを学ぼう」「木材でミニテーブルを作ってみよう」 講師：筑豊ホーム 代表 宮地 裕次さん、高倉 高徳さん

⑨ボランティア保険の周知及び事務手続き

・ボランティア活動保険の加入実績

地区名	加入件数 (件)	加入人数 (人)	内 訳	
			男性 (人)	女性 (人)
稲築地区	5	42	8	34
碓井地区	1	19	8	11
山田地区	2	60	11	49
嘉穂地区	7	83	24	59
合計	15	204	51	153

・ボランティア行事用保険の加入実績

地区名	加入件数 (件)	加入内訳	
		サロンでの加入 (件)	その他の行事 での加入 (件)
稲築地区	9	8	1
碓井地区	5	5	0
山田地区	8	2	6
嘉穂地区	13	5	8
市外	0	0	0
合計	35	20	15

⑩任期満了に伴うボランティア運営委員会委員の改選

市内の関係団体等の推薦を得て、委員の改選を行った。任期は令和4年7月1日から令和6年6月30日まで

役職名	氏 名	所 属	選出区分
委員長	伊藤 壽	わくわくマジック山田	福祉 (子ども)
副委員長	吉本 卓生	救急救命士	医療・保健
委 員	柳 紀枝	こども未来食堂 CANDY	国際協力
〃	野口 博子	留学生フロント	災害支援
〃	藤澤 健児	一般社団法人 九州防災パートナーズ	芸術・文化
〃	坂本 留里子	嘉麻市文化協会	まちづくり
〃	下谷 まさ子	漆生中央地区環境を守る会	人権
〃	福澤 翔	車いすバスケットボール選手	趣味・特技
〃	佐々木 哲巳	楽・笑・歌(らくしょうか)	趣味・特技
〃	大串 秀博	福岡県立稲築志耕館高等学校	その他(教育)
〃	高島 拓生	三高山を守る会	その他(森林保全)

⑪ボランティア運営委員会の開催

回	開催年月日	参加者	協議内容
31	令和4年9月5日(月)	6人	①委員紹介 ②委員長・副委員長の互選 ③各委員からの活動紹介及び質疑応答 ④嘉麻市におけるボランティア・市民活動の裾野を広げていくために
32	令和5年3月28日(火)	7人	①委員自己紹介、各委員からの活動紹介及び活動状況報告 ②伊藤委員長マジック披露 ③小修繕ボランティアフォローアップ講座実施報告 ④嘉麻市におけるボランティア・市民活動の裾野を広げていくために

(2) 災害ボランティアセンター事業

①嘉麻市災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し

災害ボランティア設置運営訓練に合わせて、現状とマッチしていない部分や、新型コロナウイルスの感染防止の必要性を考慮し、令和4年8月にマニュアルを見直した。

②梅雨末期の大雨に備えた災害ボランティアセンターの清掃

災害ボランティアセンターがいつでも立ち上げられるようにしておくため、令和4年5月11日と12日に建物内外の清掃を行なった。

③備蓄資材の整理及び在庫確認・補充

災害ボランティア活動で使用する備蓄資材の整理及び在庫確認・補充を行なった。

◆補充した資材

資材名	補充数	備 考	資材名	補充数	備 考	資材名	補充数	備 考
どのう袋	250枚	50枚入り×5袋	一輪車	3台	浅型のもの	養生用ブルーシート	5台	0.9m×50m
ブルーシート	1枚	40畳	ブルーシート	1枚	32畳	ブルーシート	1枚	24畳
布コロナ マスク	3個	2600mm×25m	布コロナ マスク	6個	1800mm×25m	ポップアップバッグ	3個	-
作業メガネ	6個	ゴーグルタイプ						

④嘉飯桂地区社協職員を対象とした災害ボランティア設置運営訓練の実施

年月日	会場	内容	参加者
令和4年9月3日(土)	桂川町住民センター	令和4年度 災害ボランティアセンター設置運営訓練 (嘉飯桂地区) ・講義、演習 「基礎から振り返る災害ボランティアセンターの役割」 「効率的な災害ボランティアセンターの運営～ICTの活用体験～」 「ニーズの把握とインタークの技法」 「マッチング手法の理解～マッチング班を極める～」 講師：NPO法人 いがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏	総数44人 (内本会職員9人)

⑤一般社団法人飯塚青年会議所との災害時における協力体制に関する協定の締結

調印式 開催日時：令和4年10月13日(木) 午前9時

会場：山田ふれあいハウス会議室

出席者：<飯塚青年会議所>

外山 武志理事長、多賀谷 勇気副理事長、中村 崇修事務局長、丸嶋 久典氏

<嘉麻市社会福祉協議会>

坂田 勲会長、渡辺 進事務局長、小川 史佳係長

⑥研修会への参加

年月日	会場	内容	参加者
令和4年6月16日(木)	春日市クローバープラザ	令和4年度 災害ボランティアセンター設置運営訓練 全体研修 ・説明「災害ボランティアセンターをめぐる状況と今後の取り組みについて」 説明者：社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 災害福祉支援センター ・基本研修「災害時に社協に求められる地域福祉活動と災害ボランティアセンターの運営」 講師：Nukiito 代表 群馬県 榛東村社会福祉協議会 係長 高山 弘毅氏 ・ステップアップ研修「災害ボランティアセンターにおける受援力・応援力の向上」 講師：NPO法人 いがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏 ・テーマ別研修「災害ボランティアセンターにおける外部支援の状況と平時のつながりの重要性」 講師：NPO法人 いがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏	職員1人